

**OKURA**

# 2025年12月期 決算説明資料

2026年2月16日

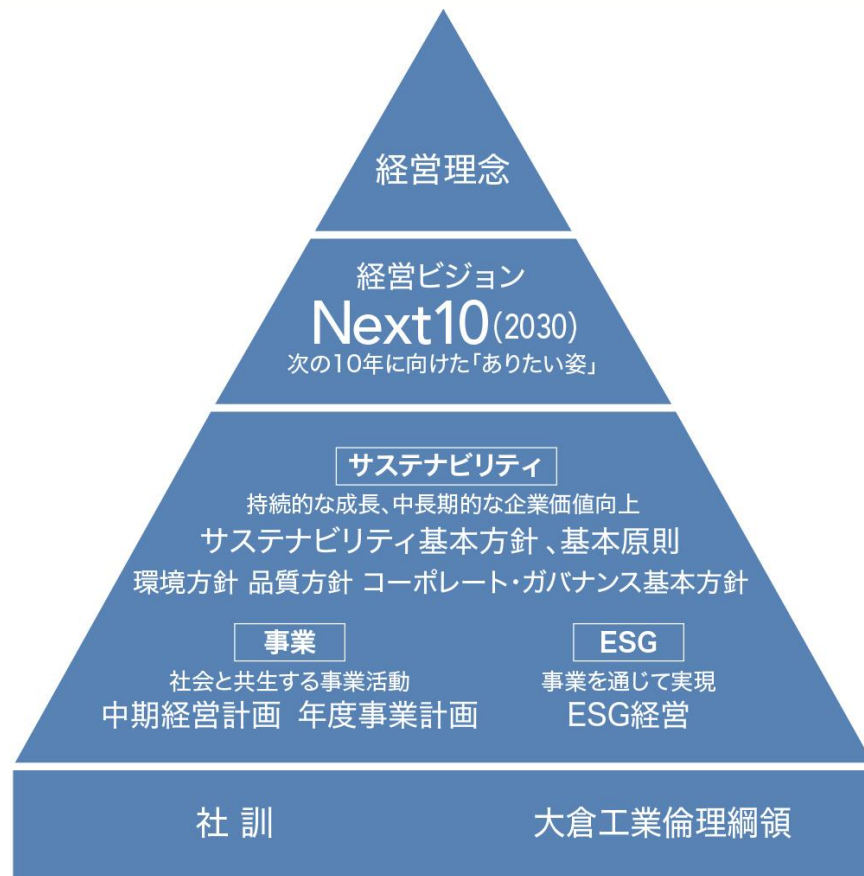


**大倉工業株式会社**

証券コード：4221

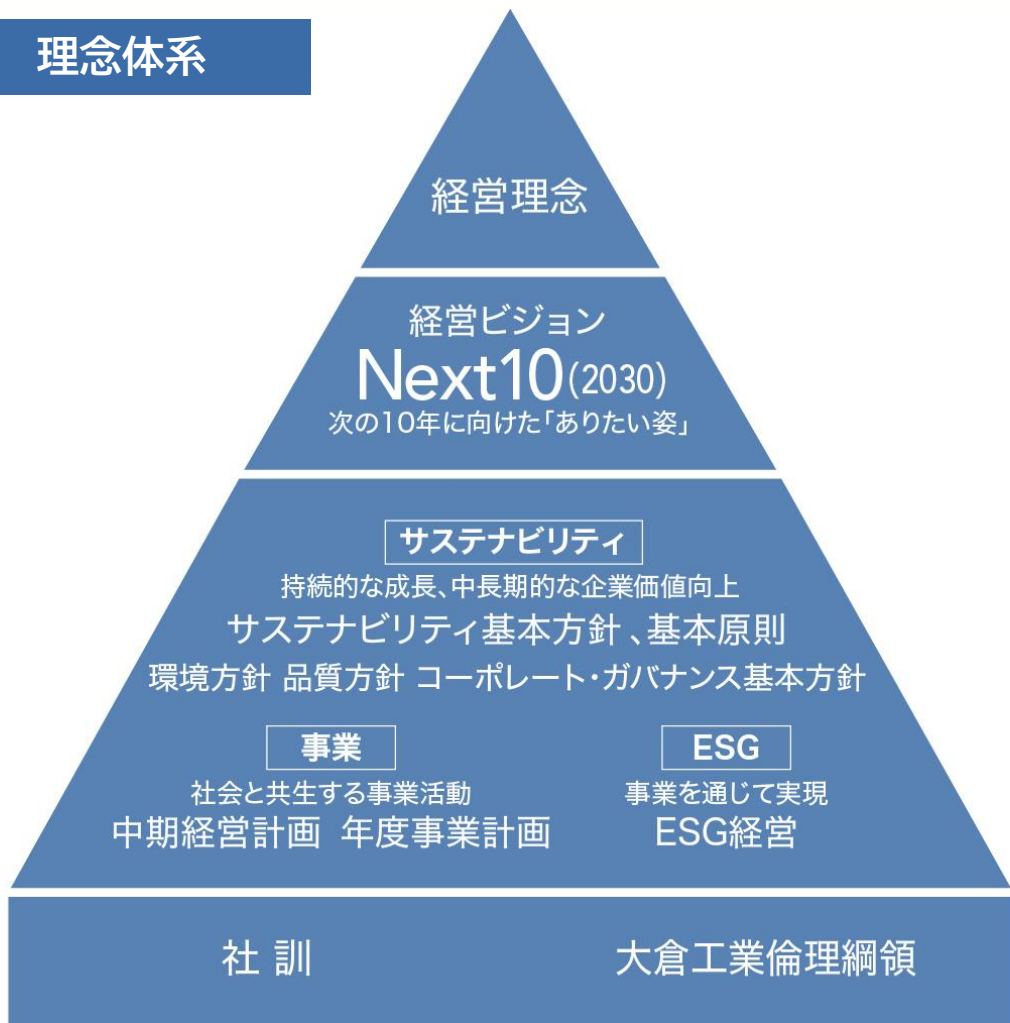
## C O N T E N T S

1. 2025年12月期決算概要
2. 2026年12月期業績予想
3. 中期経営計画(2027)の進捗
4. 参考資料



# 大倉工業グループが目指す姿

## 理念体系



## サステナビリティ基本方針

「社会から信頼される企業」であり続けるために、  
事業を通じて、  
社会との共生を念頭に企業の成長を目指す

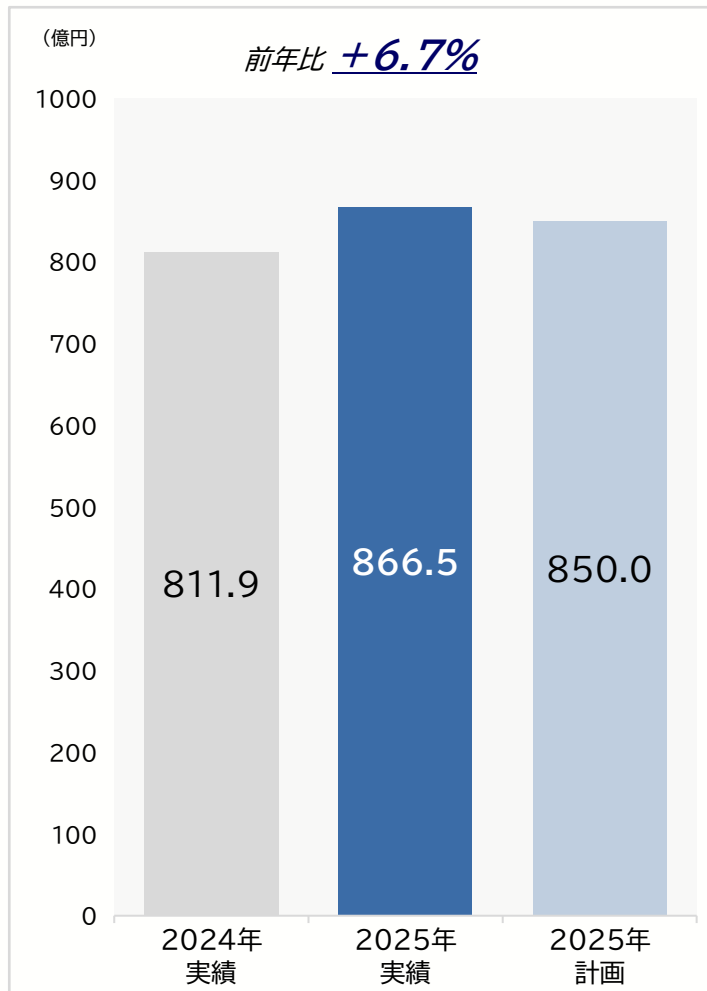
## サステナビリティ基本原則

1. 事業とESGの両立
2. 地球環境の保全
3. 法令順守・人権尊重と労働環境の配慮
4. 情報開示と対話

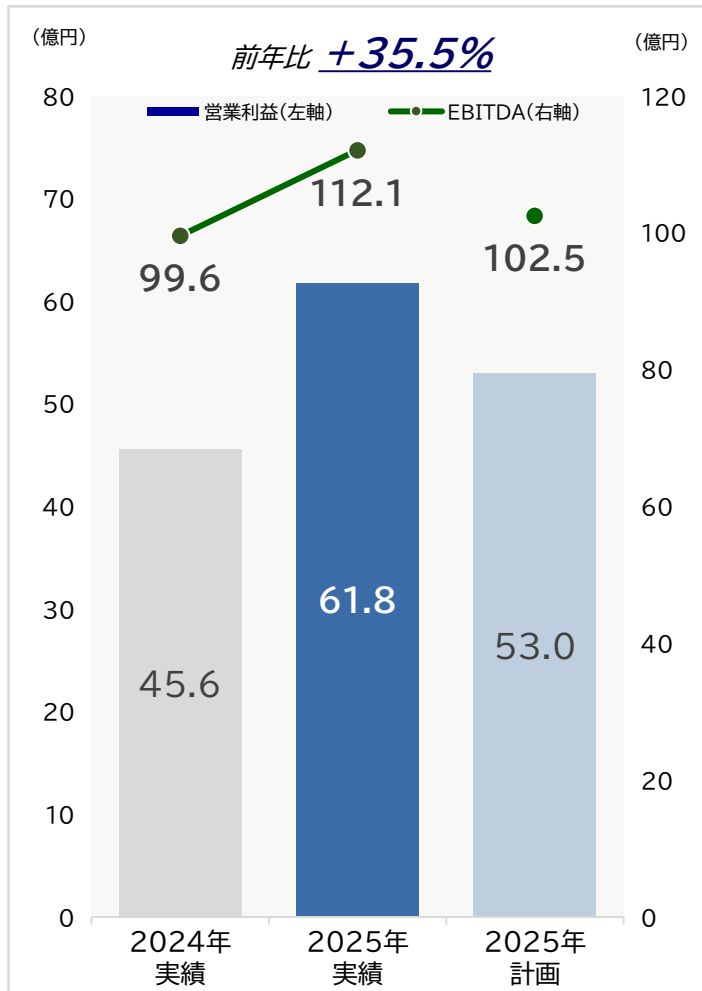
# 1. 2025年12月期決算概要

# 連結売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、設備投資等

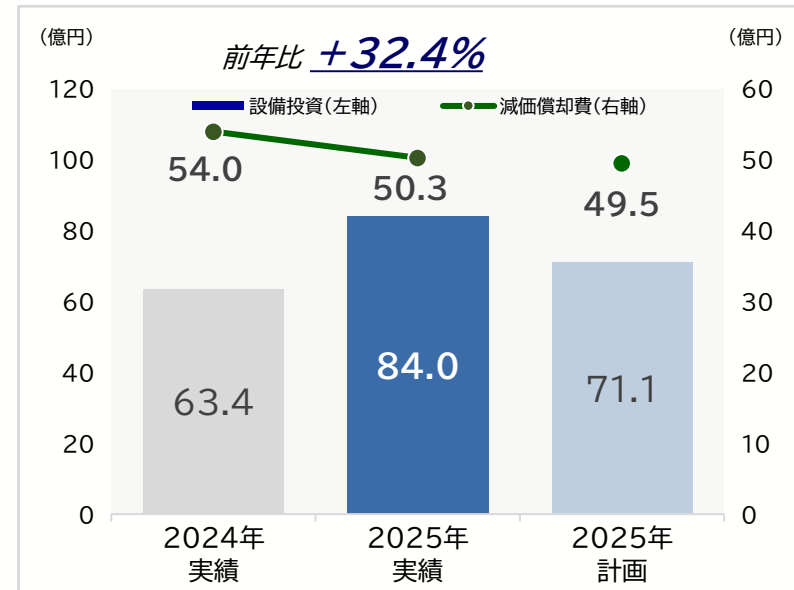
【連結売上高】



【連結営業利益】



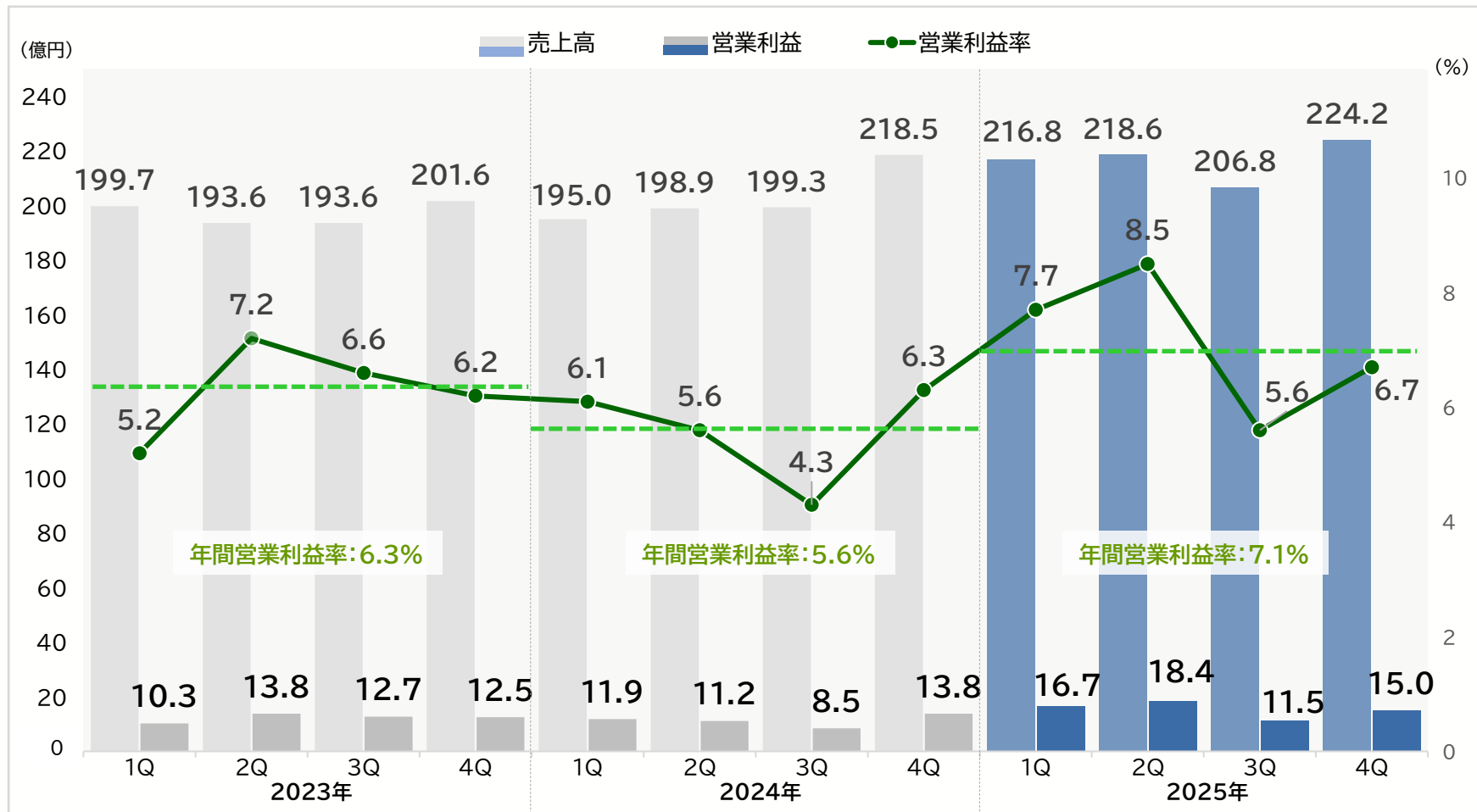
【連結設備投資】



(億円)

	2024年 実績	2025年 実績	前年比
経常利益	51.1	64.2	+25.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	43.5	38.1	△12.5%
1株当たり配当金	160円	195円	+35円

# 四半期別連結売上高、営業利益、営業利益率推移



## 2025年 業績サマリー

### ① 合成樹脂事業

- 需要減少により、包装用フィルムの販売数量は減少
- 環境貢献製品及び工業用プロセスフィルムの販売は堅調に推移
- 価格改定やコスト削減が寄与し、増益

### ② 新規材料事業

- 大型液晶テレビ用ハイエンドディスプレイ向け光学フィルムの受注は、1Qから2Qにかけて増加。3Qは在庫調整により、落ち込んだものの、4Qには回復
- 新工場(G2ライン)の稼働が安定し増益に貢献

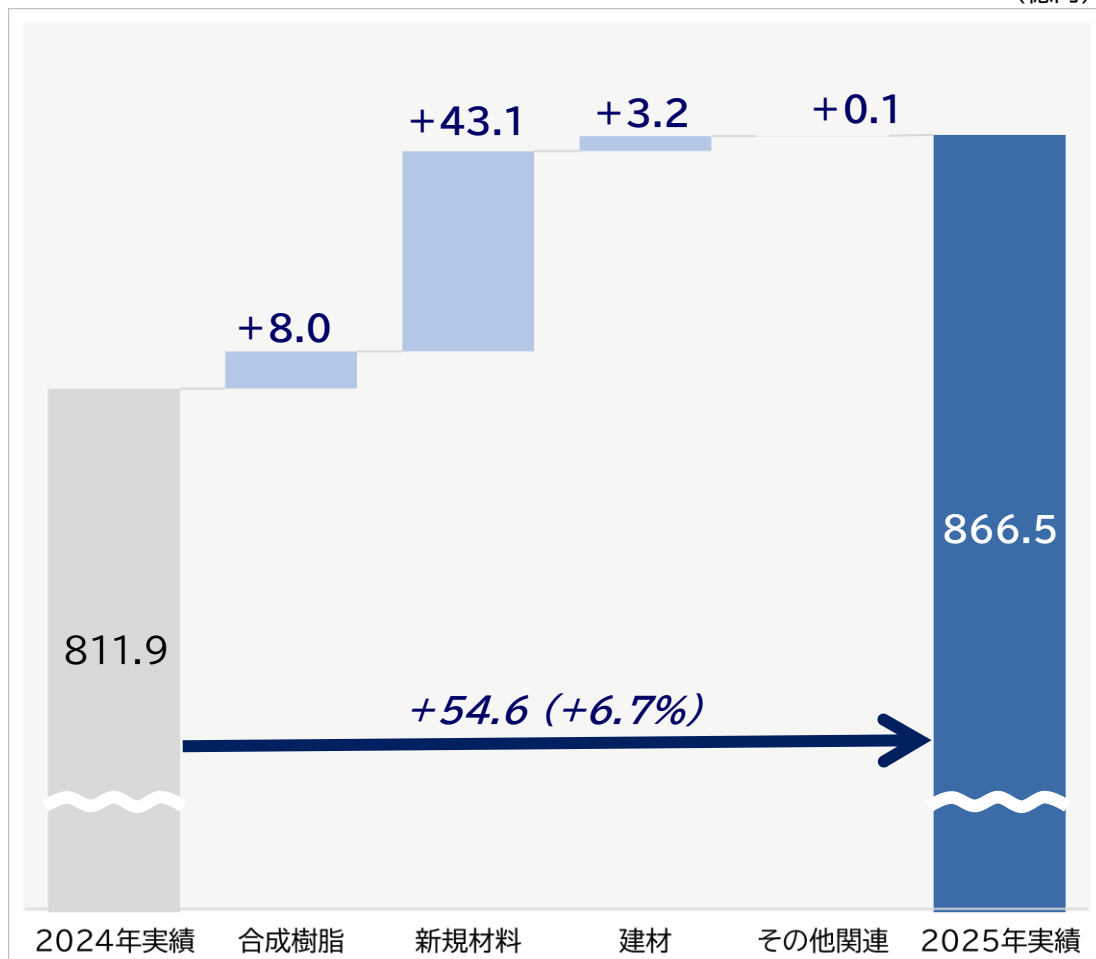
### ③ 建材事業

- リフォーム需要が堅調であり、水回り向けのパーティクルボードの販売が増加
- 一部在庫の評価損計上により減益

# 事業別売上高、営業利益増減

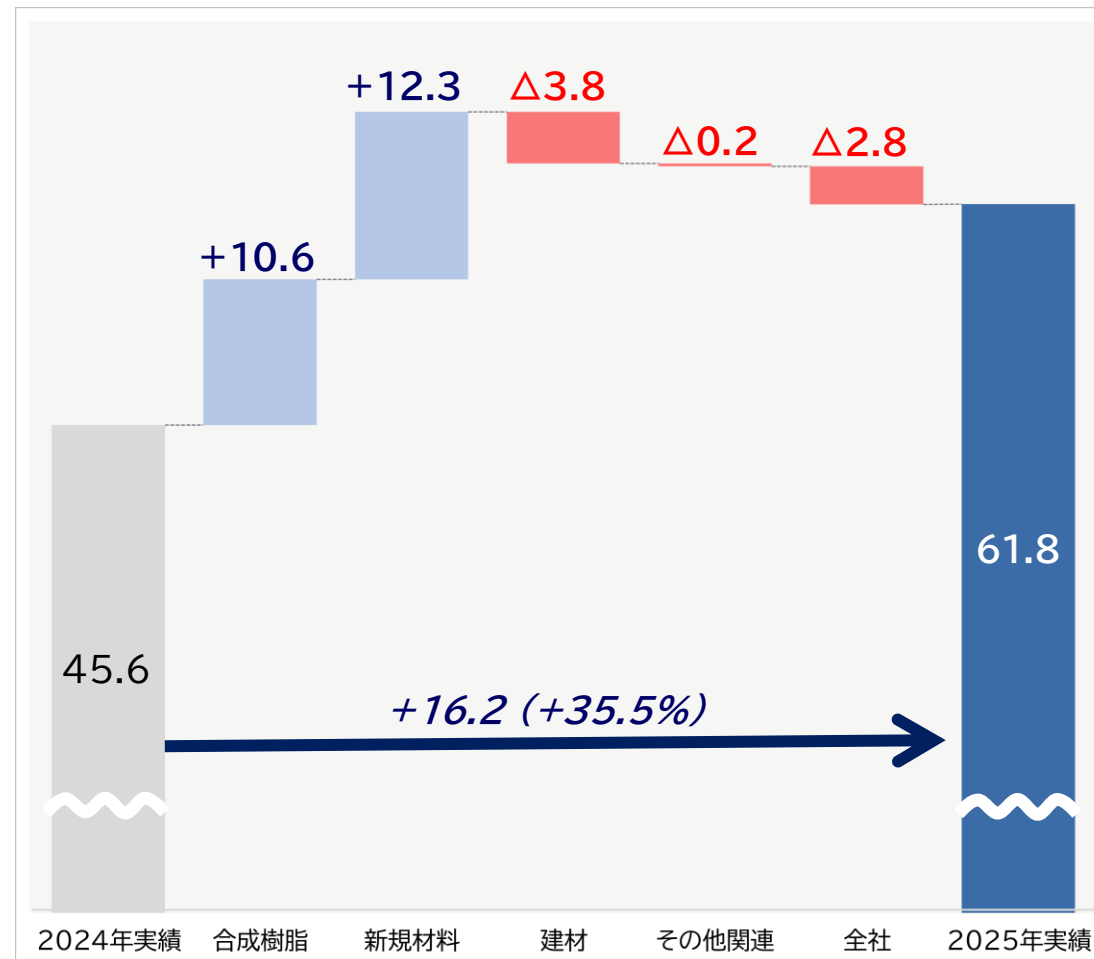
【連結売上高】

(億円)



【連結営業利益】

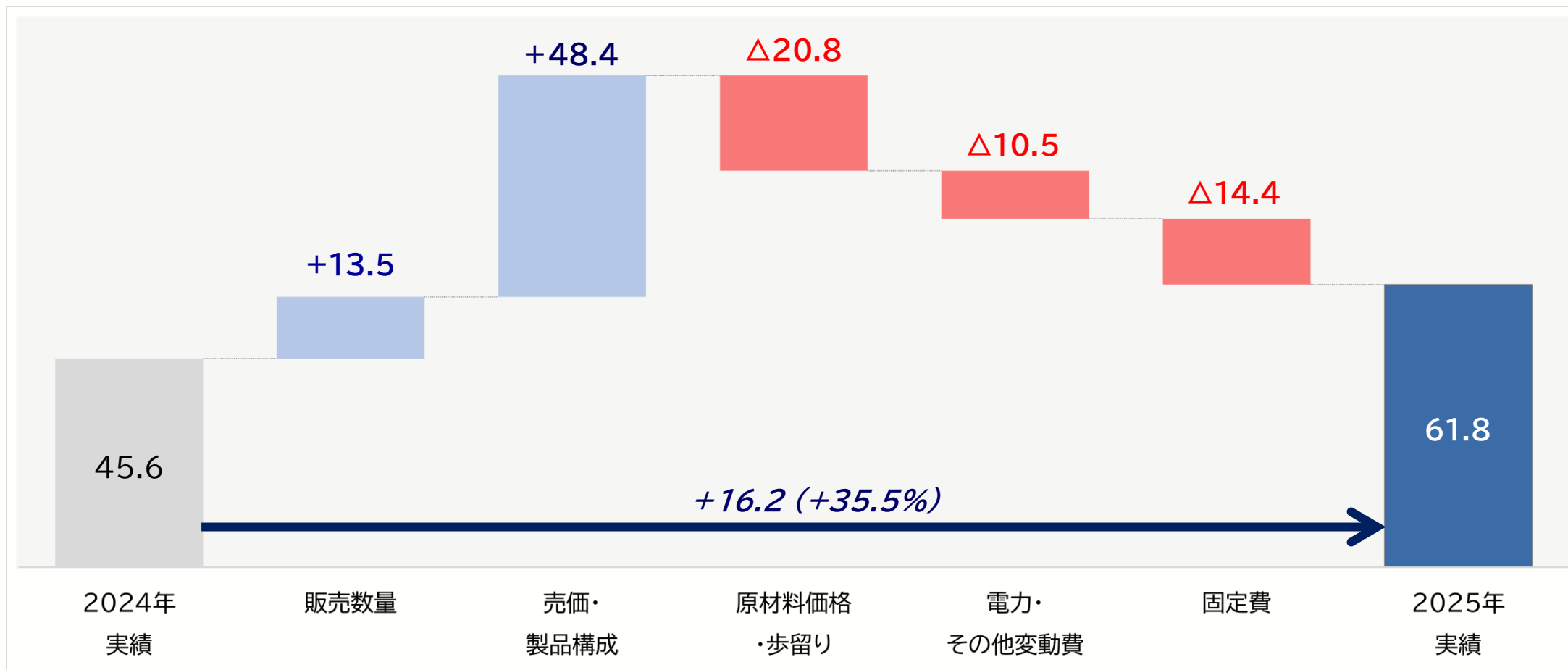
(億円)



# 連結営業利益増減

【連結営業利益】

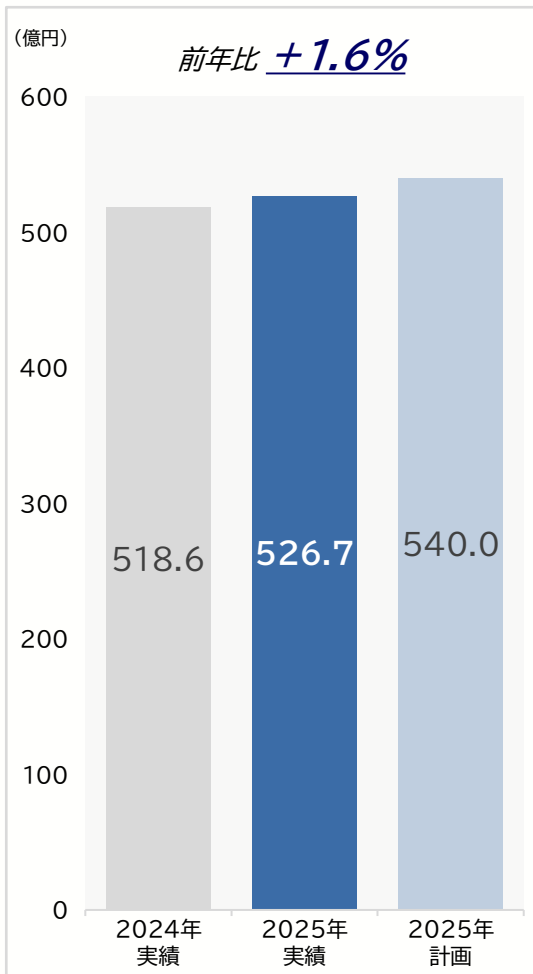
(億円)



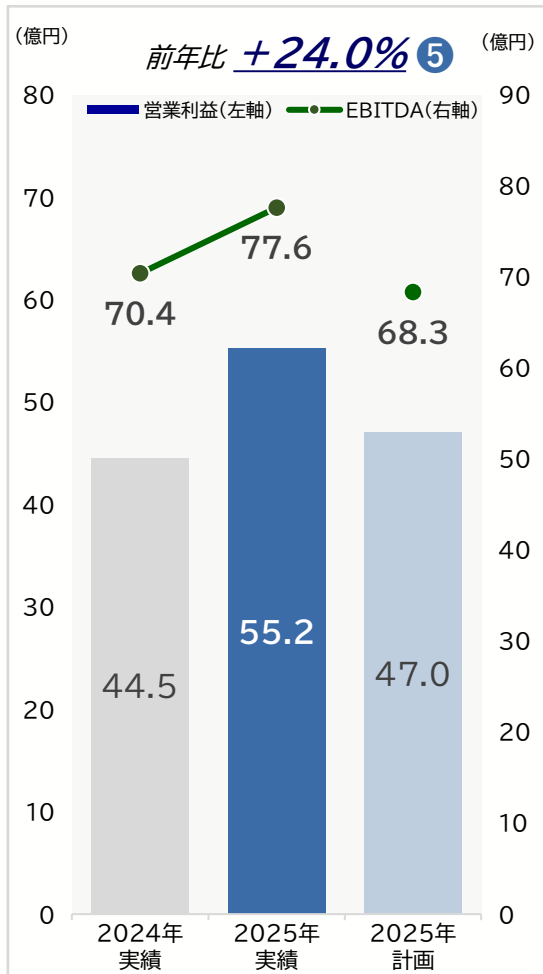


# 合成樹脂事業

【売上高】



【営業利益】



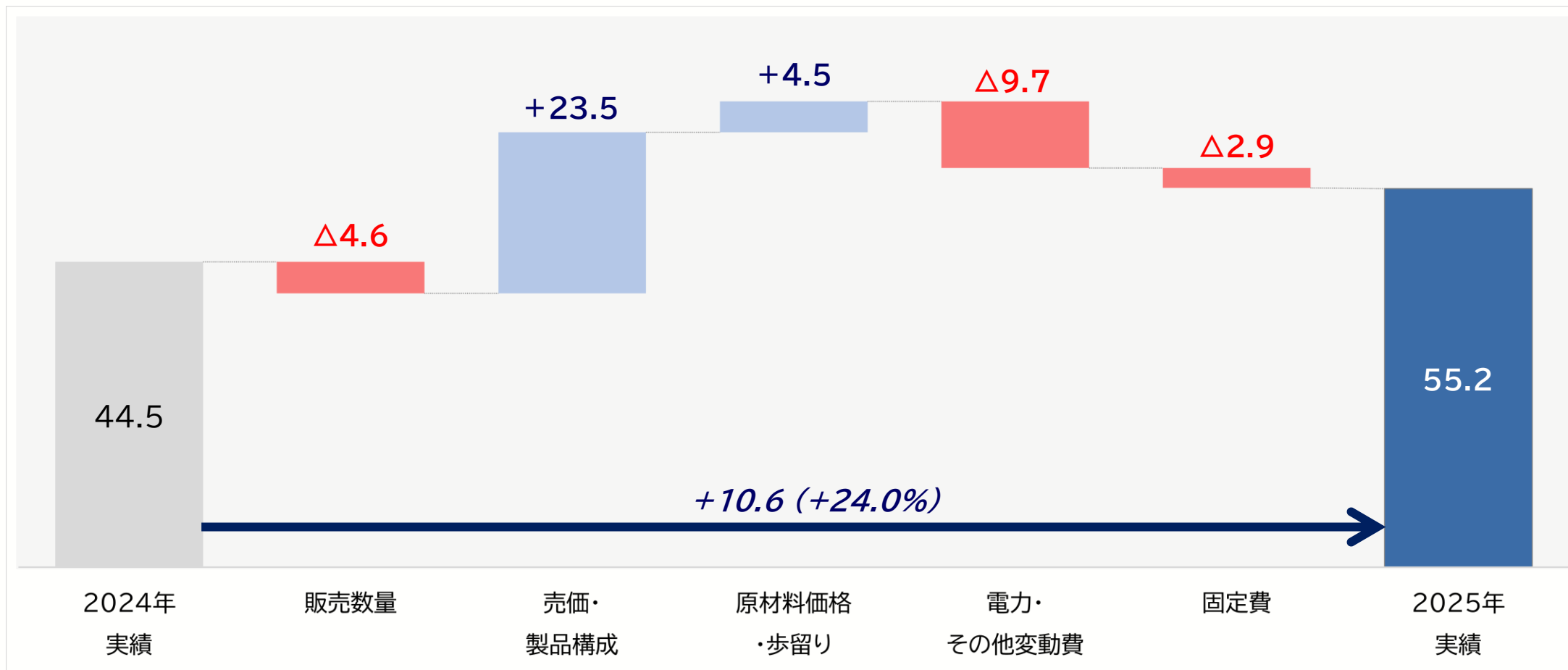
【BU別売上高】	2025年実績 (百万円)	前年比
ライフ & パッケージBU	18,817	① +2.3%
シュリンクフィルム	10,337	+5.0%
軟包材	6,318	△2.2%
リキッドパック	2,162	+3.2%
プロセスマテリアルBU	6,396	② +0.5%
ベーシックマテリアルBU	20,373	③ △0.6%
アグリマテリアルBU	5,613	④ +4.3%
その他	1,469	+21.3%
合計	52,671	+1.6%

- ① 物価上昇による需要減少は見られたものの、詰替用パウチやカップ向けシュリンク製品は堅調に推移
- ② 光学用途の工業用プロセスフィルム販売は堅調
- ③ 衛生材料など既存製品の需要減少に対し、価格改定によって前年同水準を維持
- ④ 安価な海外製品への切り替えなどによる販売数量減少がある中で、価格改定により前年を上回る
- ⑤ 販売価格改定や生産性の向上などによるコスト削減が寄与し、増益

# 合成樹脂事業

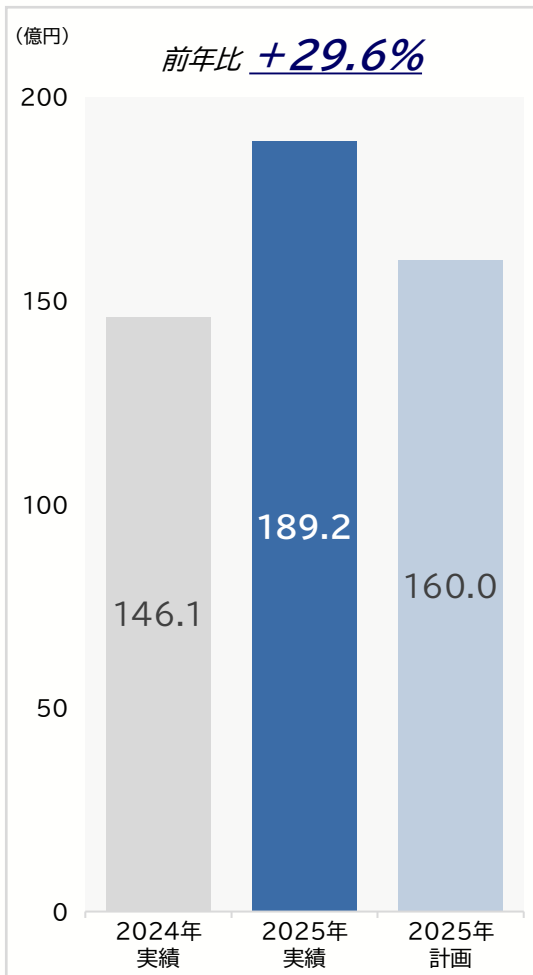
【営業利益】

(億円)

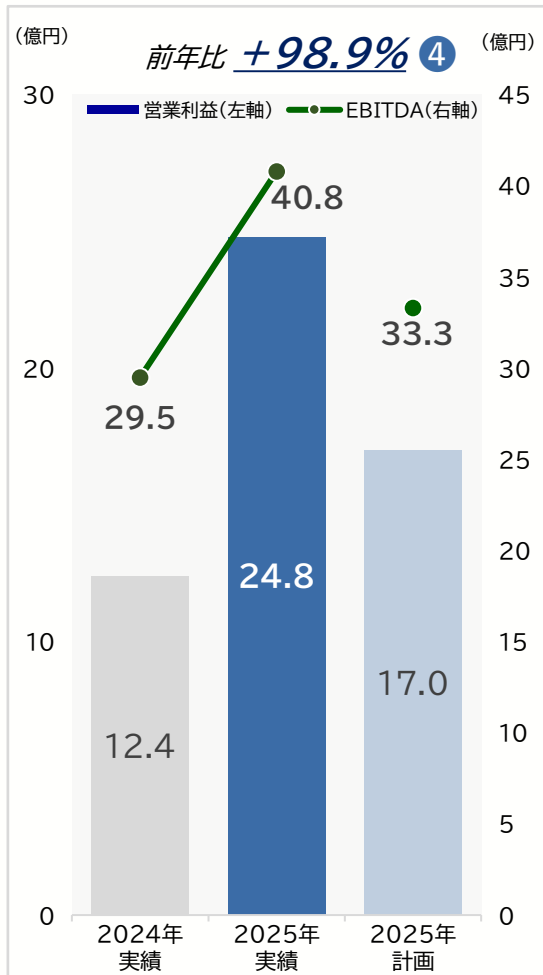


# 新規材料事業

【売上高】



【営業利益】

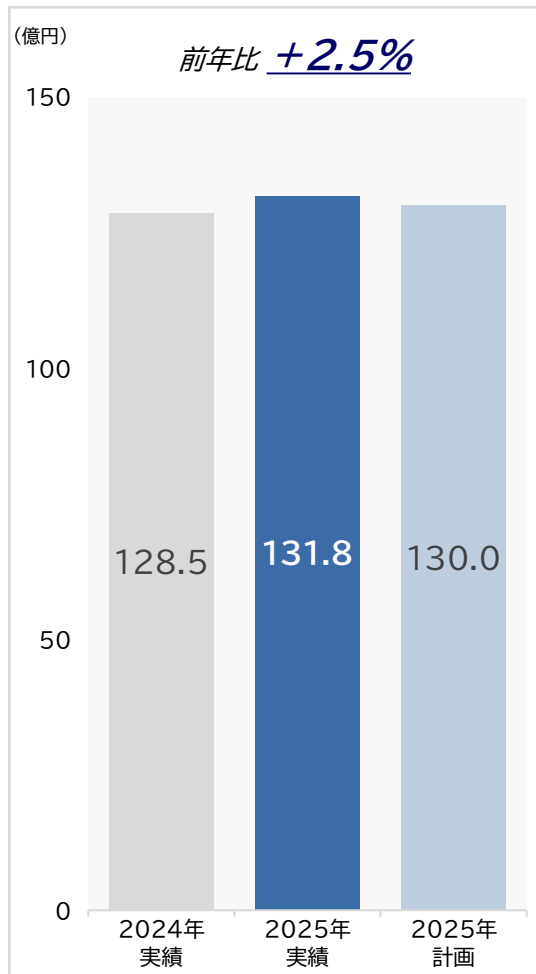


【BU別売上高】	2025年実績 (百万円)	前年比
機能材料BU	2,986	① Δ7.6%
電子材料BU	2,555	② +3.3%
光学材料BU	13,283	③ +51.1%
商品他	104	Δ9.2%
合計	18,928	+29.6%

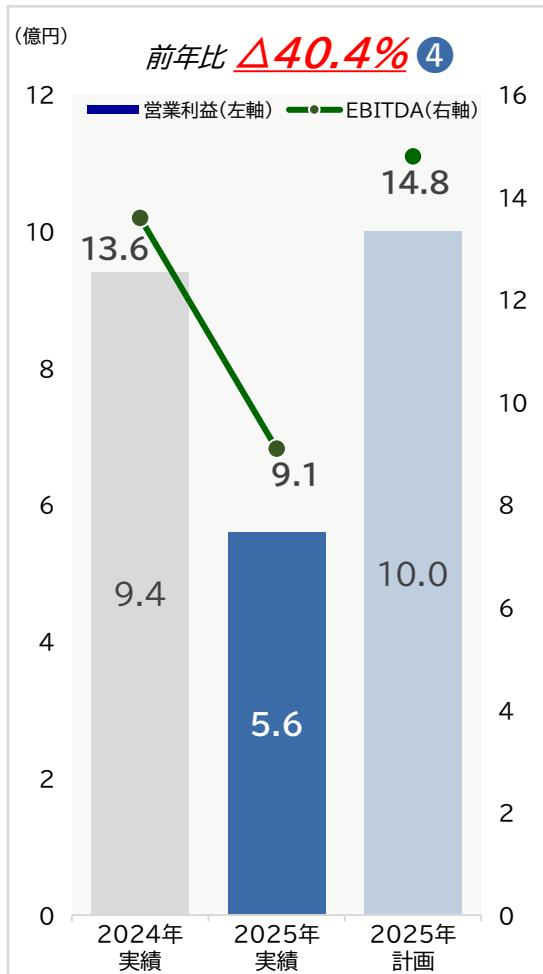
- ① 自動車用途の機能材料フィルムの需要が低調
- ② スマホ・タブレット等の中小型パネル向けが堅調。高機能性の車載用フィルムを中心に、精密塗工事業の加工数量が増加
- ③ 大型液晶テレビ用ハイエンドディスプレイ向け光学フィルムは、アクリルフィルム、COPフィルムともに好調に推移
- ④ 昨年稼働を開始したG2ラインの安定稼働により増益

# 建材事業

【売上高】



【営業利益】

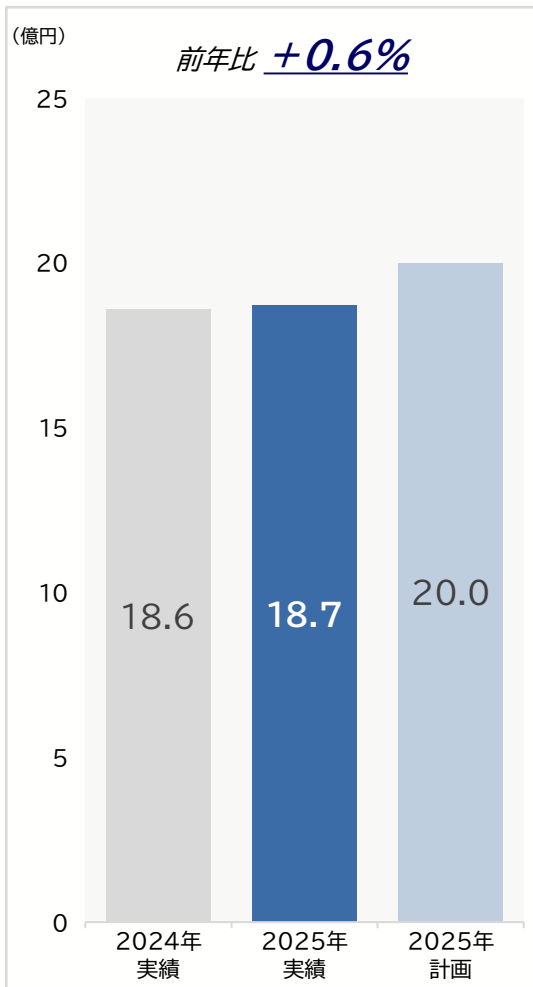


【製品別売上高】	2025年実績 (百万円)	前年比
パーティクルボード製品	8,252	① +0.6%
環境資材製品	552	△20.9%
住宅部材製品	187	+4.3%
ハウス事業	1,364	② +0.3%
プレカット事業	3,227	③ +18.0%
消去・組替	△400	-
合計	13,185	+2.5%

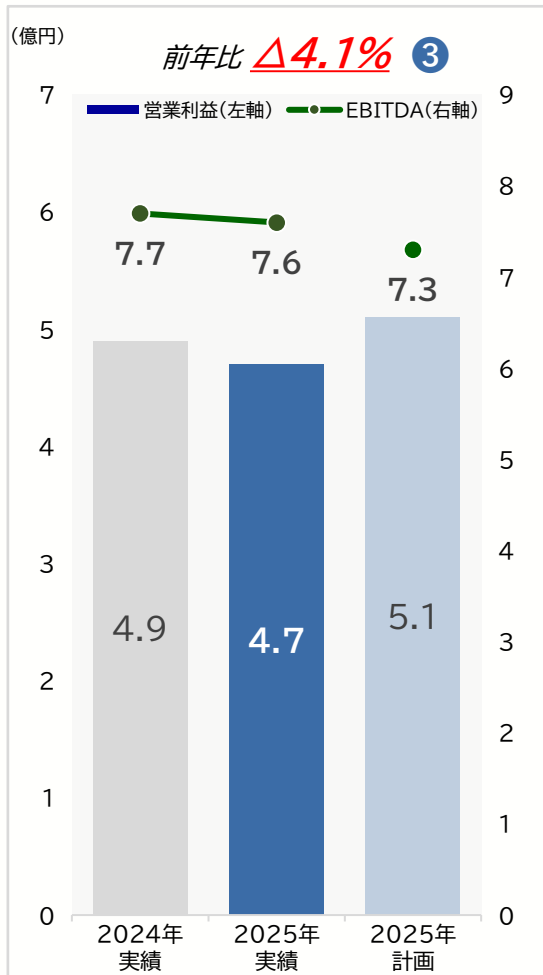
- ① 製品構成による販売単価の上昇により前年から増収
- ② 新設住宅着工戸数が減少するなど、市場環境は低調に推移しているものの、リフォーム関連事業と低価格帯住宅は堅調
- ③ 前期は工場移転で減収となったが、今期はその影響がなく、非住宅物件の好調も相まって増収
- ④ 売上高は増加したものの、一部在庫の評価損計上により減益

## その他関連事業

【売上高】



【営業利益】



【事業別売上高】	2025年実績 (百万円)	前年比
ホテル事業	971	① +4.6%
情報処理事業	1,591	② △0.9%
賃貸事業	600	+6.6%
消去・組替	△1,290	-
合計	1,872	+0.6%

- ① インバウンドを中心に宿泊が増加
- ② グループ内向けの販売が増加したものの、調剤薬局向けシステムの販売が減少
- ③ 調剤薬局向けシステムの更新に伴う開発費用の増加により、減益

## 連結損益計算書

(億円)

	2024年 実績	2025年 実績	増減額	主な内訳
売上高	811.9	866.5	+54.6	
営業利益	45.6	61.8	+16.2	
営業外収益	6.5	4.7	△1.7	
営業外費用	1.0	2.3	+1.2	
経常利益	51.1	64.2	+13.1	
特別利益	32.9	0.2	△32.7	【前期】投資有価証券売却益:24.1 固定資産売却益:8.7
特別損失	24.0	12.4	△11.5	【前期】減損損失:20.7 【当期】減損損失:10.9
税金等調整前 当期純利益	60.0	52.0	△7.9	
法人税等	16.3	13.8	△2.5	
親会社株主に帰属する 当期純利益	43.5	38.1	△5.4	

## 連結貸借対照表

(億円)

		2024年 期末実績	2025年 期末実績	増減額	主な増減
資産の部	流動資産	555.4	526.6	△28.8	【固定】有形固定資産:+16.4 【固定】無形固定資産:+5.4
	固定資産	474.6	503.7	+29.0	【流動】売上債権:△13.2 【流動】現金及び預金:△9.6
	資産合計	1,030.1	1,030.4	+0.2	
負債の部	流動負債	348.5	344.7	△3.7	【流動】未払金:+6.1 【流動・固定】借入金:+6.1
	固定負債	60.8	54.3	△6.5	【流動】仕入債務:△19.9 【流動】未払法人税等:△6.3
	負債合計	409.3	399.0	△10.2	
純資産の部	純資産合計	620.7	631.3	+10.5	利益剰余金:+15.2 退職給付に係る調整累計額:+6.7 自己株式:△12.2
自己資本比率		60.2%	61.2%	+1.0P	
借入金残高		61.2	67.3	+6.1	

## 連結キャッシュ・フロー計算書

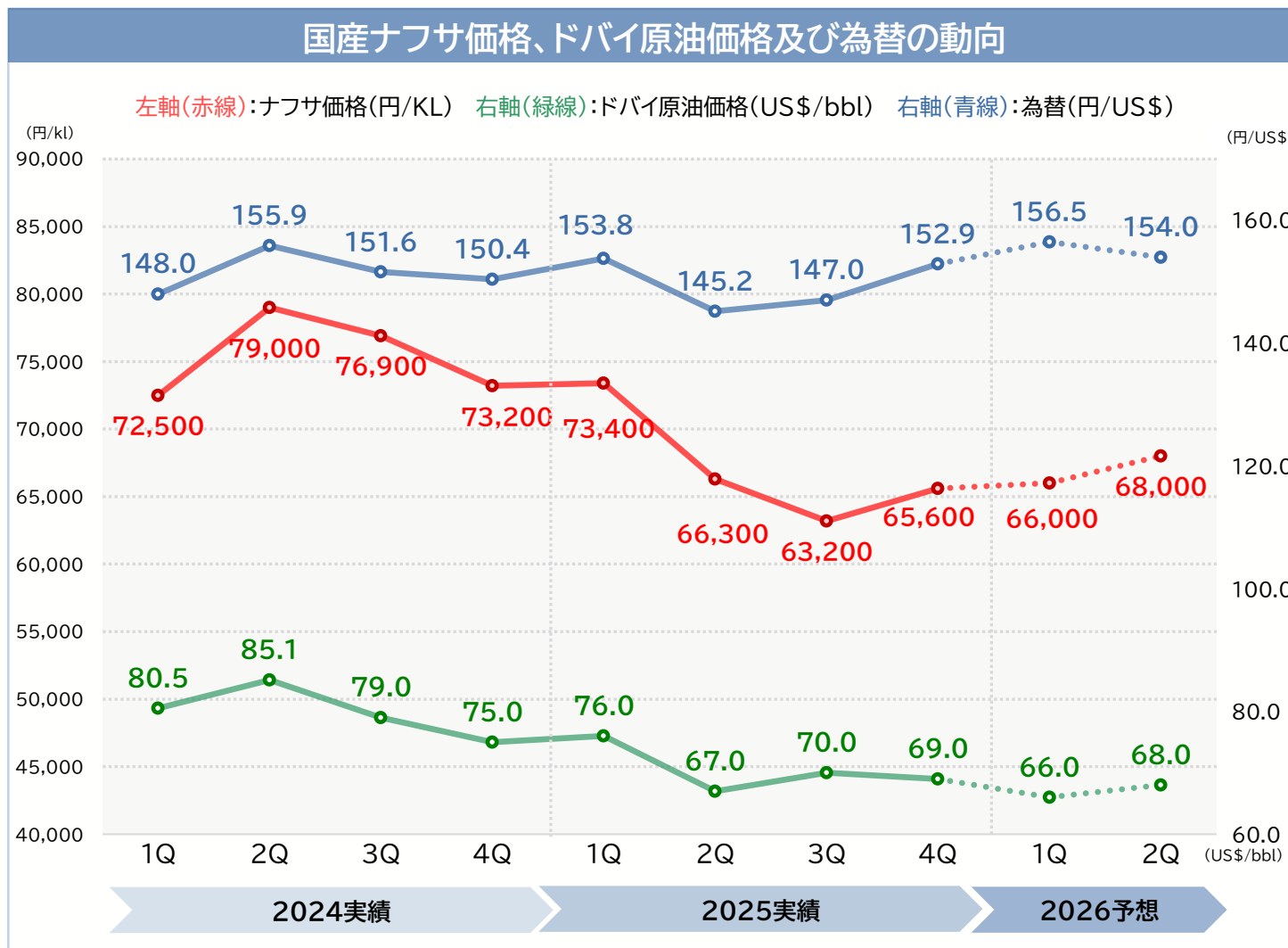
(億円)

	2024年 実績	2025年 実績	2025年の主な増減要因 (2024年対比)
現金及び現金同等物 高	78.0	89.4	
営業活動による キャッシュ・フロー	58.3	99.0	税金等調整前当期純利益による資金増: +52.0 減価償却費による資金増: +50.3
投資活動による キャッシュ・フロー	△57.0	△79.7	製造装置等の有形固定資産の取得による資金減
財務活動による キャッシュ・フロー	9.4	△29.0	借入金の増加による資金増: +6.1 自己株式の取得による資金減: △12.3 配当金の支払による資金減: △22.8
現金及び現金同等物 高	89.4	79.8	



## 2. 2026年12月期業績予想

# 外部環境予想と市場予測

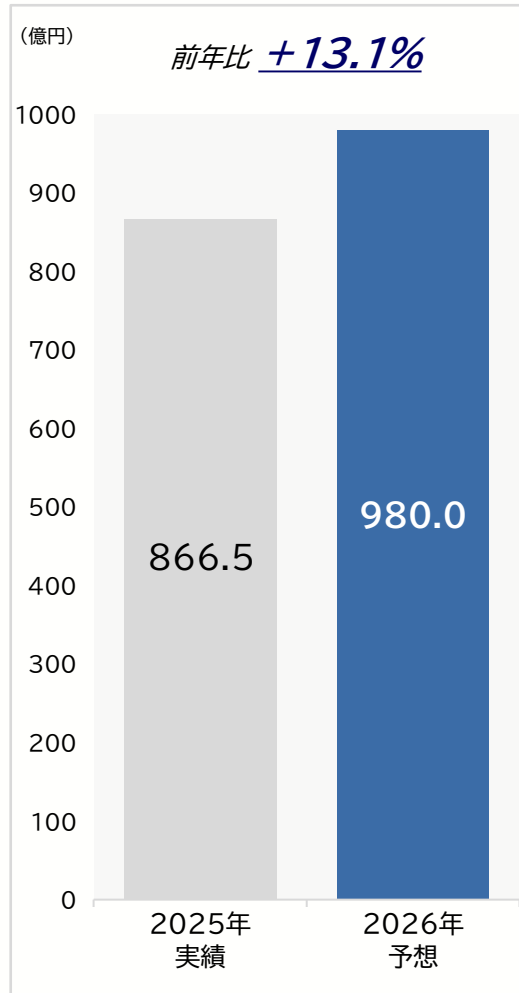


### 市場予測

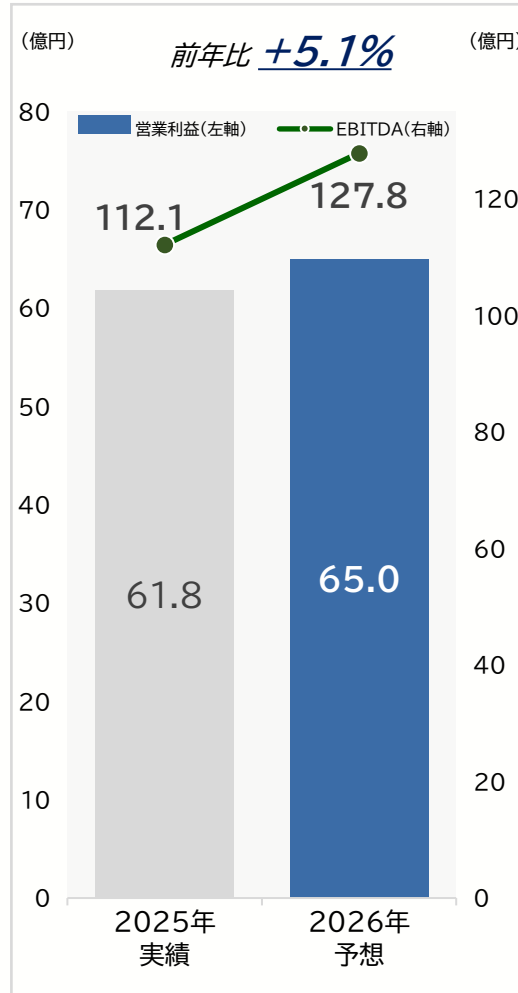
- 1 原材料**
  - 中国エチレンメーカー生産能力増強により国内、韓国エチレンメーカー再編が加速
  - 海外、国内原料の価格是正の可能性
- 2 大型ディスプレイ**
  - TV市場の大画面化傾向の継続、偏光板 需要年率2~7%で伸長
  - 高精細、高輝度、広視野角といった性能向上により、液晶テレビの高機能化が進展
- 3 自動車**
  - 世界生産台数は前年比増加
- 4 個人消費**
  - 物価上昇の影響を受けるものの、賃金上昇に伴う緩やか回復傾向が継続
- 4 住宅**
  - 新設住宅着工戸数は漸減傾向継続
  - リフォーム需要は継続。リフォーム市場の30%がキッチン、バス等の水回り製品が占める

# 連結売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、設備投資

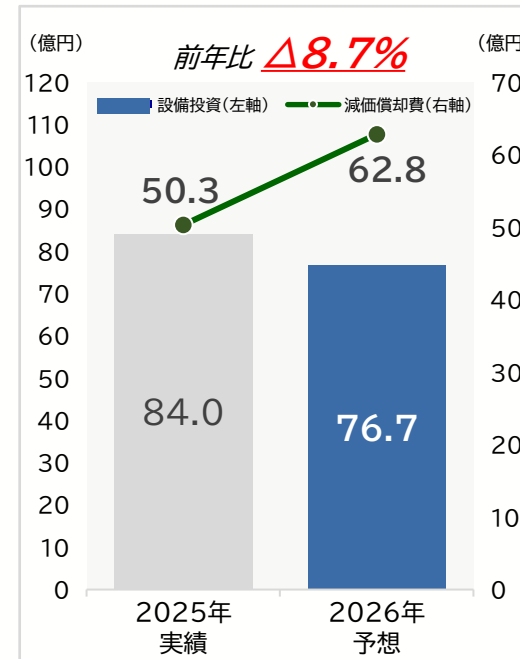
【連結売上高】



【連結営業利益】



【連結設備投資】



## 主な設備投資案件

- ① 建材事業**
  - 四国地域材を活用した木質構造材料事業: 11.2億円
- ② 新規材料事業**
  - 光学フィルム製造設備改造: 2.8億円
- ③ 合成樹脂事業**
  - アグリマテリアルフィルム製造設備: 1.8億円

	2025年実績	2026年予想	前年比
経常利益	64.2	67.0	+4.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	38.1	43.0	+12.7%
1株当たり配当金	195円	220円	+25円

(億円)

## 事業別売上高、営業利益、EBITDA、設備投資

【売上高】

(億円)

	2025年実績	2026年予想	前年比
合成樹脂事業	526.7	627.0	+19.0%
新規材料事業	189.2	195.0	+3.0%
建材事業	131.8	138.0	+4.7%
その他関連事業	18.7	20.0	+6.8%
合計	866.5	980.0	+13.1%

【EBITDA】

(億円)

	2025年実績	2026年予想	前年比
合成樹脂事業	77.6	83.9	+8.1%
新規材料事業	40.8	46.0	+12.5%
建材事業	9.1	13.5	+47.6%
その他関連事業	7.6	10.4	+36.6%
全社費用	△23.1	△26.0	—
合計	112.1	127.8	14.0%

【営業利益】

(億円)

	2025年実績	2026年予想	前年比
合成樹脂事業	55.2	57.0	+3.2%
新規材料事業	24.8	30.0	+20.9%
建材事業	5.6	4.5	△20.2%
その他関連事業	4.7	5.0	+5.3%
全社費用	△28.5	△31.5	—
合計	61.8	65.0	5.1%

【設備投資】

(億円)

	2025年実績	2026年予想	前年比
合成樹脂事業	17.2	28.4	+65.2%
新規材料事業	8.7	18.4	+109.3%
建材事業	39.2	22.7	△42.0%
その他関連事業	8.2	2.9	△63.6%
全社費用	10.5	4.0	△61.5%
合計	84.0	76.7	△8.7%

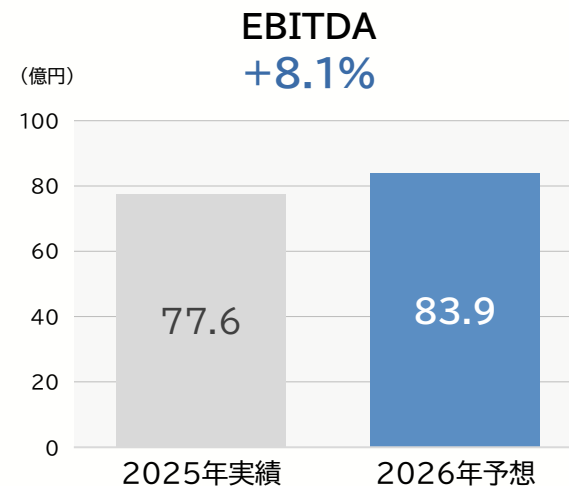
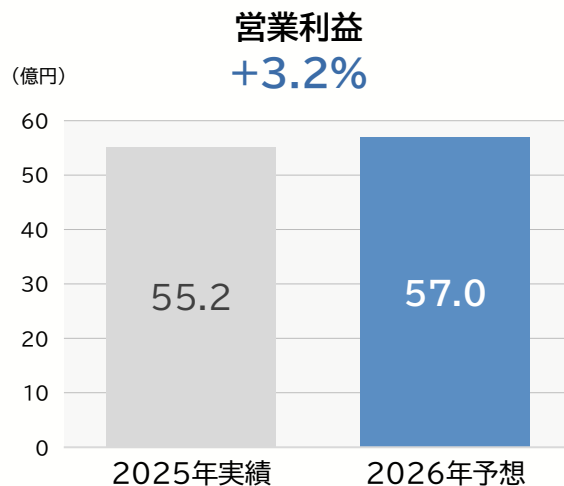
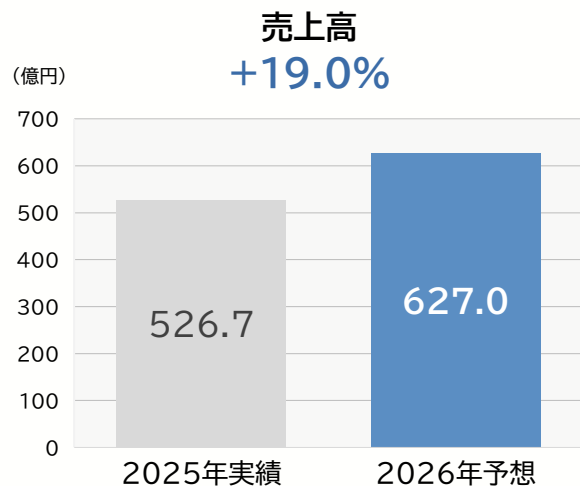
# 重点取組みと業績見通し 合成樹脂事業

中計全体戦略

- モビリティ、電子材料、半導体、電池領域を注力領域とし、積極投資と事業拡大
- 包装コスト低減と環境負荷軽減を実現出来る環境貢献製品の拡大
- オークラベトナムの活用と海外販売の拡大

2026年の  
重点取組み

- プロセスマテリアルBUでは、光学プロテクトフィルムの品質確立と拡販体制構築により、販売拡大を推進
- ライフ&パッケージBUでは、シュリンクフィルムの新用途・新形態の確立と詰替用パウチ市場のプレゼンス向上



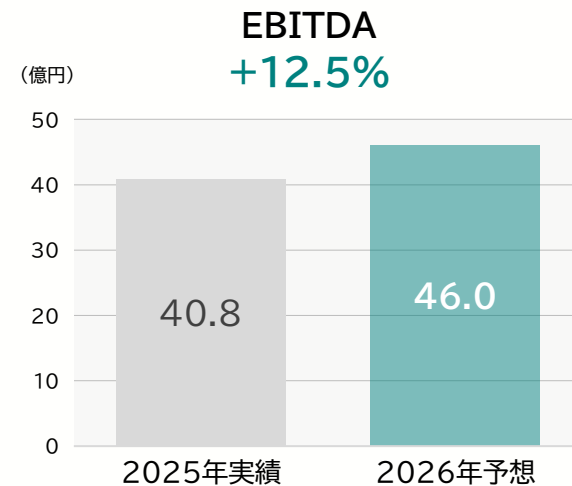
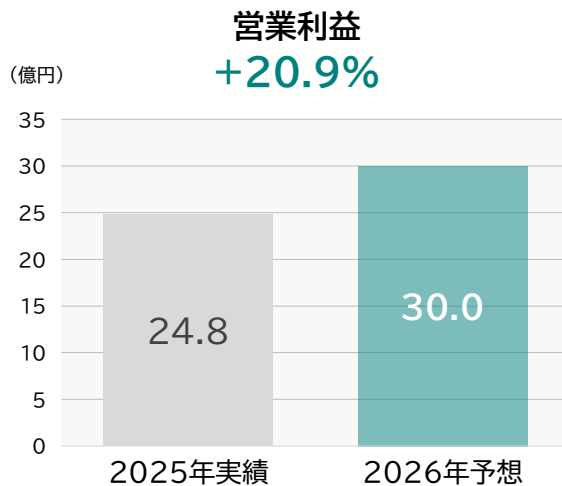
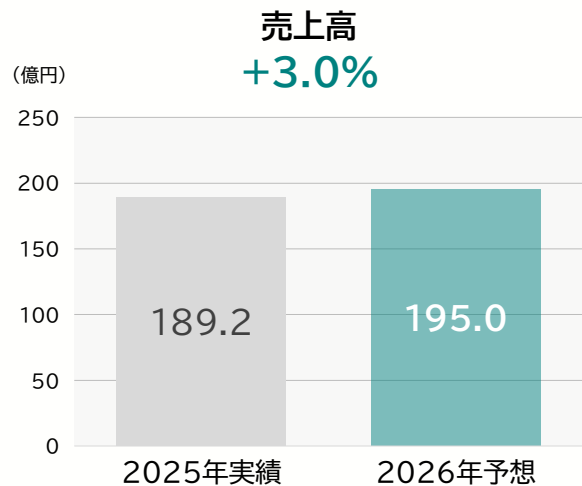
# 重点取組みと業績見通し 新規材料事業

中計全体戦略

- G2ラインの本格稼働による大型ディスプレイ用アクリルフィルムの拡販
- ディスプレイ、情報通信、モビリティ、ライフサイエンスの進化に対応した製品・加工技術の提供

2026年の重点取組み

- G2ラインの年間安定稼働の維持と更なる品質向上
- 光学フィルム全体での生産性の向上とCOPフィルム、アクリルフィルムの拡販強化



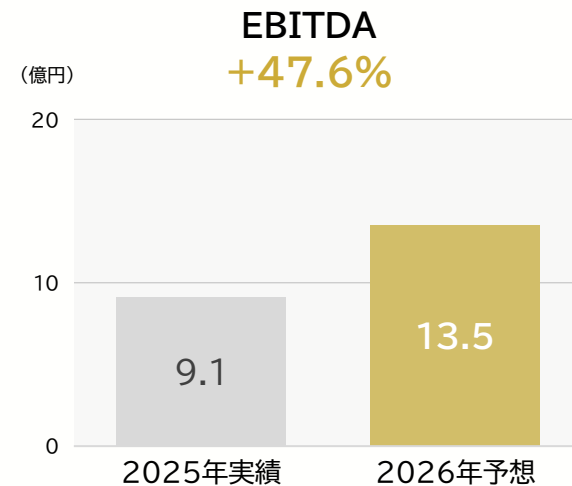
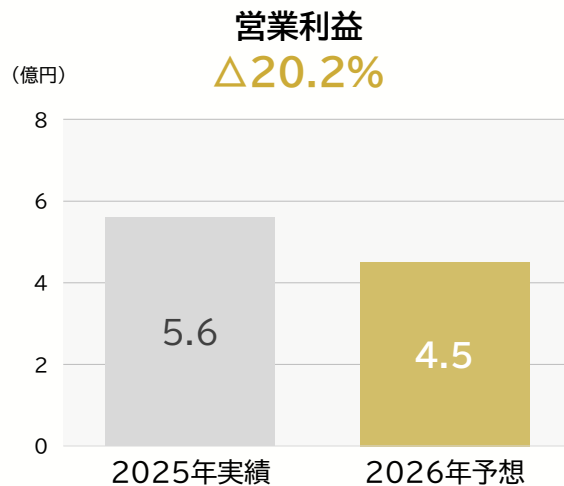
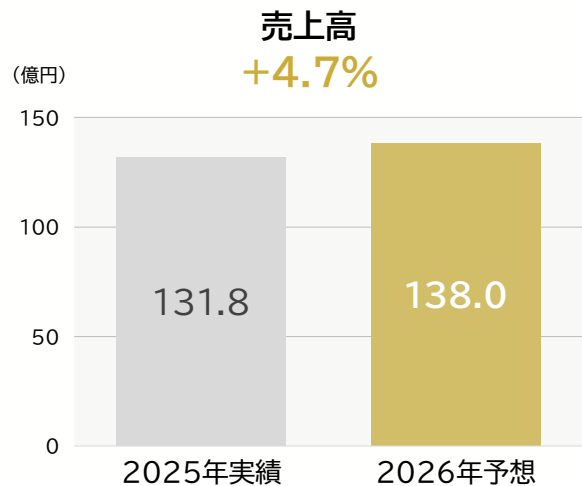
# 重点取組みと業績見通し 建材事業

中計全体戦略

- パーティクルボード事業の安定操業と、非住宅分野での事業拡大
- 森林資源の循環利用に貢献する木質建材事業の垂直連携

2026年の重点取組み

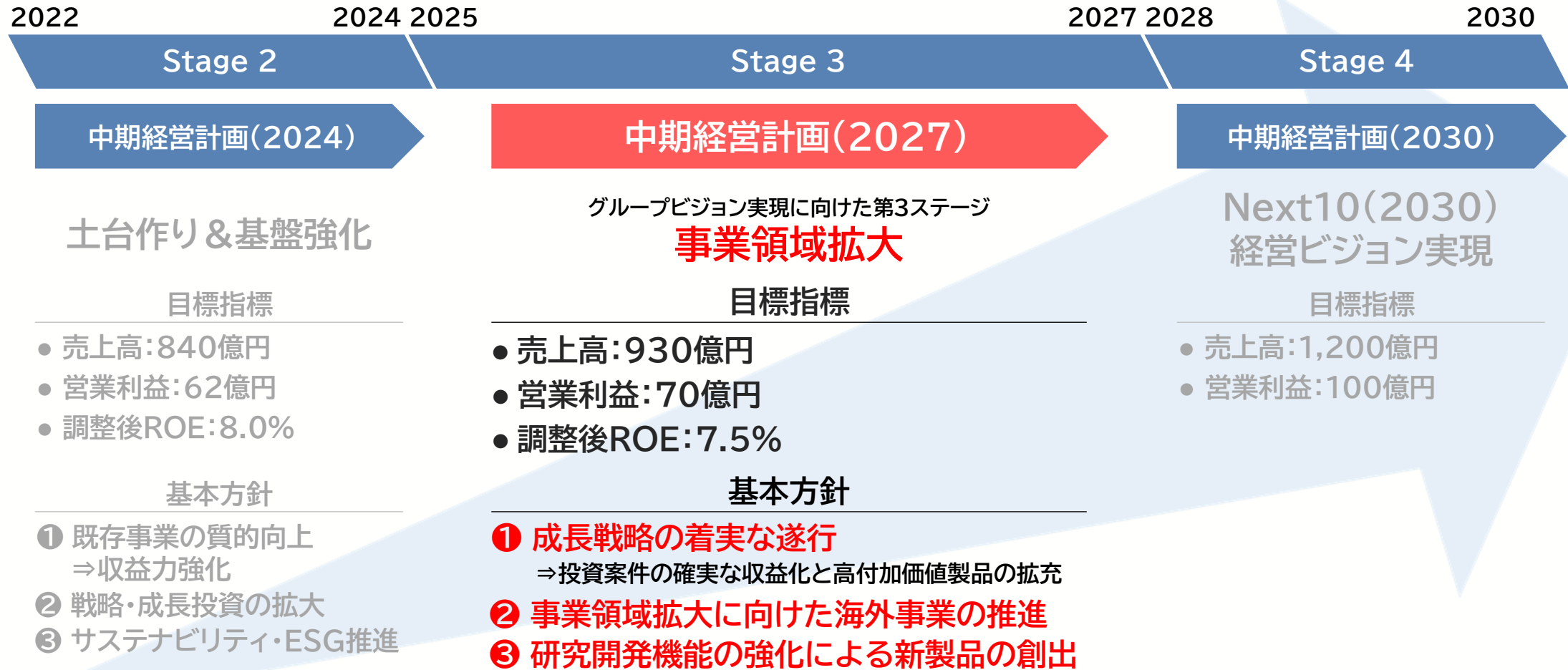
- パーティクルボード事業では、表面平滑性や耐水性という特長を強みに、リフォーム市場への拡販を推進
- 木質構造材料事業では、製造体制の確立、国産構造材の認知浸透、及びユーザー確保に注力



### 3. 中期経営計画(2027)の進捗



# 【事業戦略】中期経営計画(2027)の位置づけ



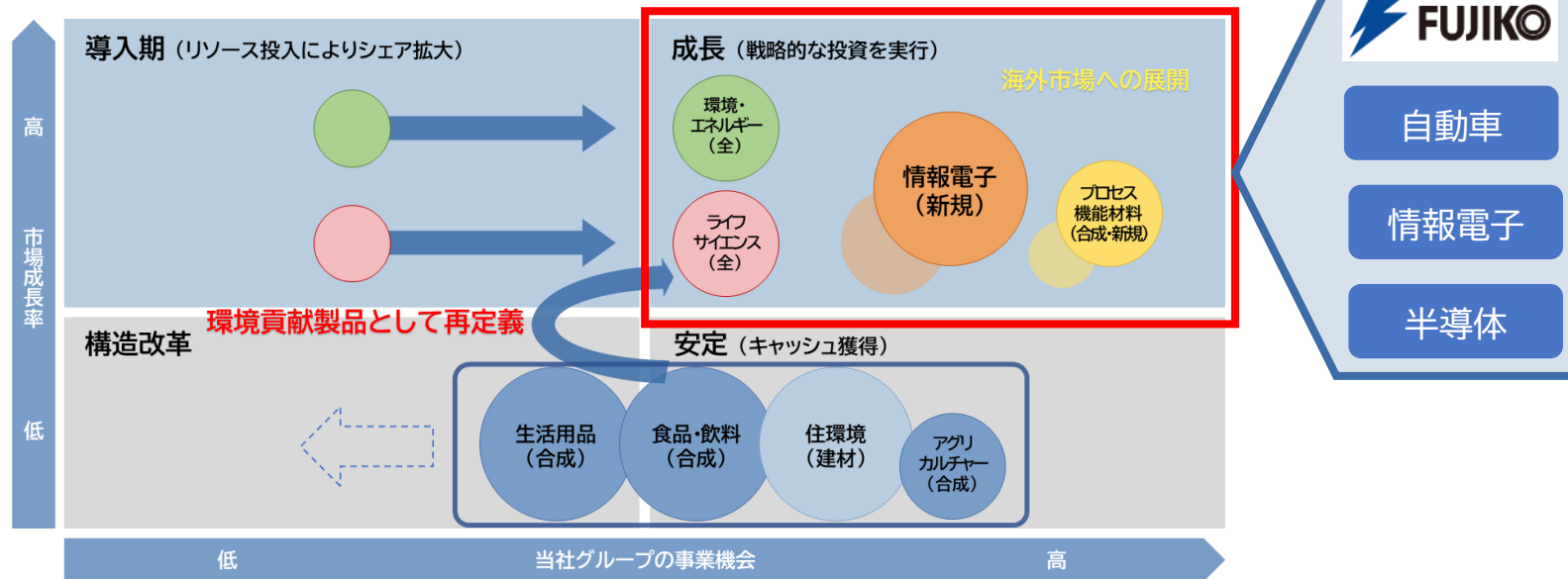
# 【事業戦略】基本方針①：成長戦略の着実な遂行 ～株式会社フジコー株式取得～

## 【会社概要】

社名	株式会社フジコー
本社	香川県丸亀市川西町南甲284番地2
代表者	代表取締役社長 森 光弘
設立	1974年2月28日
事業内容	パッケージ事業、剥離フィルム事業、 転写印刷フィルム事業、撥水・撥油紙事業
従業員数	256名
資本金	3,000万円
売上高	96.7億円 (2024年実績)
営業利益	6.4億円 (2024年実績)
拠点	製造:本社工場、まんのう工場(香川県) 営業:静岡営業所、高知営業所

## 【Next10(2030)で掲げた当社の事業ポートフォリオの深化】

- 成長分野の「情報電子」「プロセス機能材料」「環境・エネルギー」「ライフサイエンス」に重点的に投資
- 基盤事業である生活サポート群は環境貢献を切り口として、環境へ対応した製品への転換と拡充を目的に投資



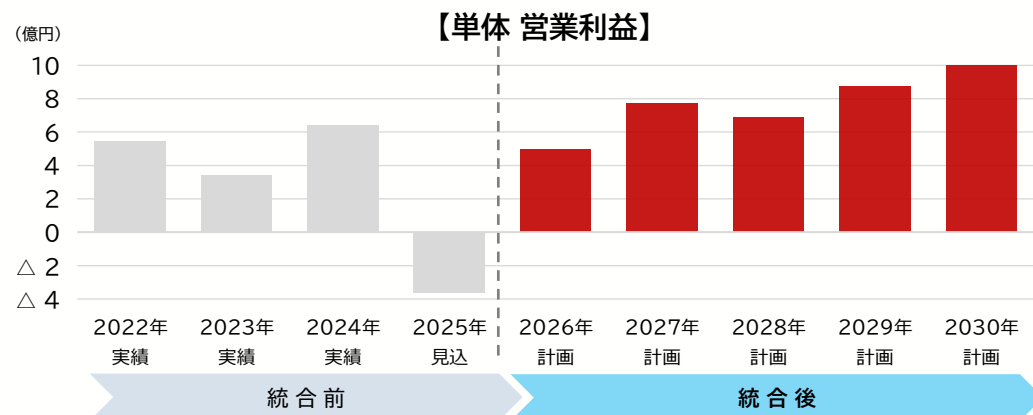
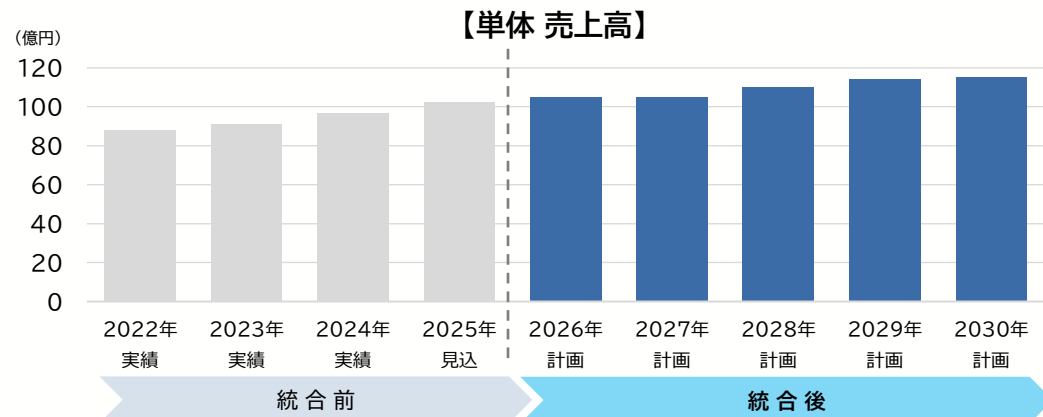
- フジコーは、自動車、情報電子、半導体関連など成長分野で、優れたフィルム加工技術により、顧客との強固な関係を構築している  
⇒フジコーと協働し、事業ポートフォリオ変革の原動力に

# 【事業戦略】基本方針①：成長戦略の着実な遂行 ～株式会社フジコー株式取得～

【製造・開発プロセスの融合】



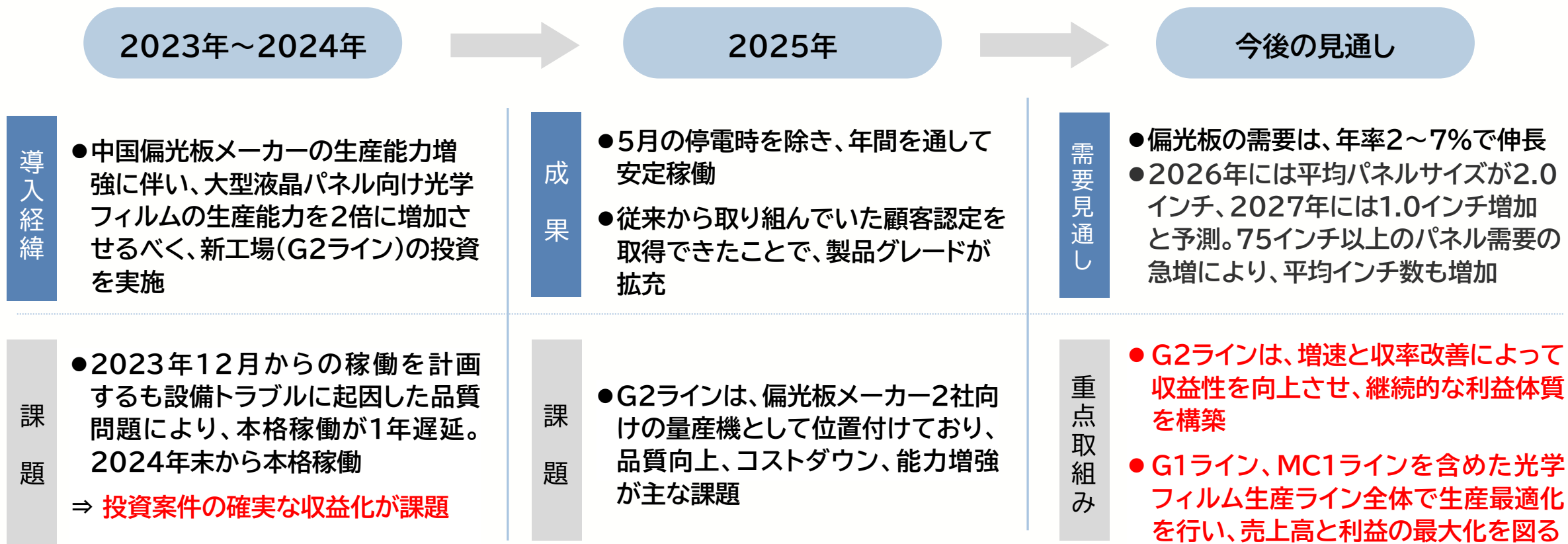
【事業計画】



垂直統合型の開発・生産体制を構築し、成長分野で新製品を投入。2030年に年間10億円の利益創出を目指す

# 【事業戦略】基本方針①：成長戦略の着実な遂行 ～G2ラインの収益力強化～

## 【新規材料事業 G2ラインの現状と今後の見通し】



# 【事業戦略】基本方針①：成長戦略の着実な遂行 ～四国地域材を活用した木質構造材料事業～

【事業の流れ】

事業パートナー

<森林資源>



<製材(ラフ・ラミナ)>



<JAS製材・集成材>



<木材・部材加工>



<建設>



オークラハウス・協力業者など  
オークラプレカットシステム



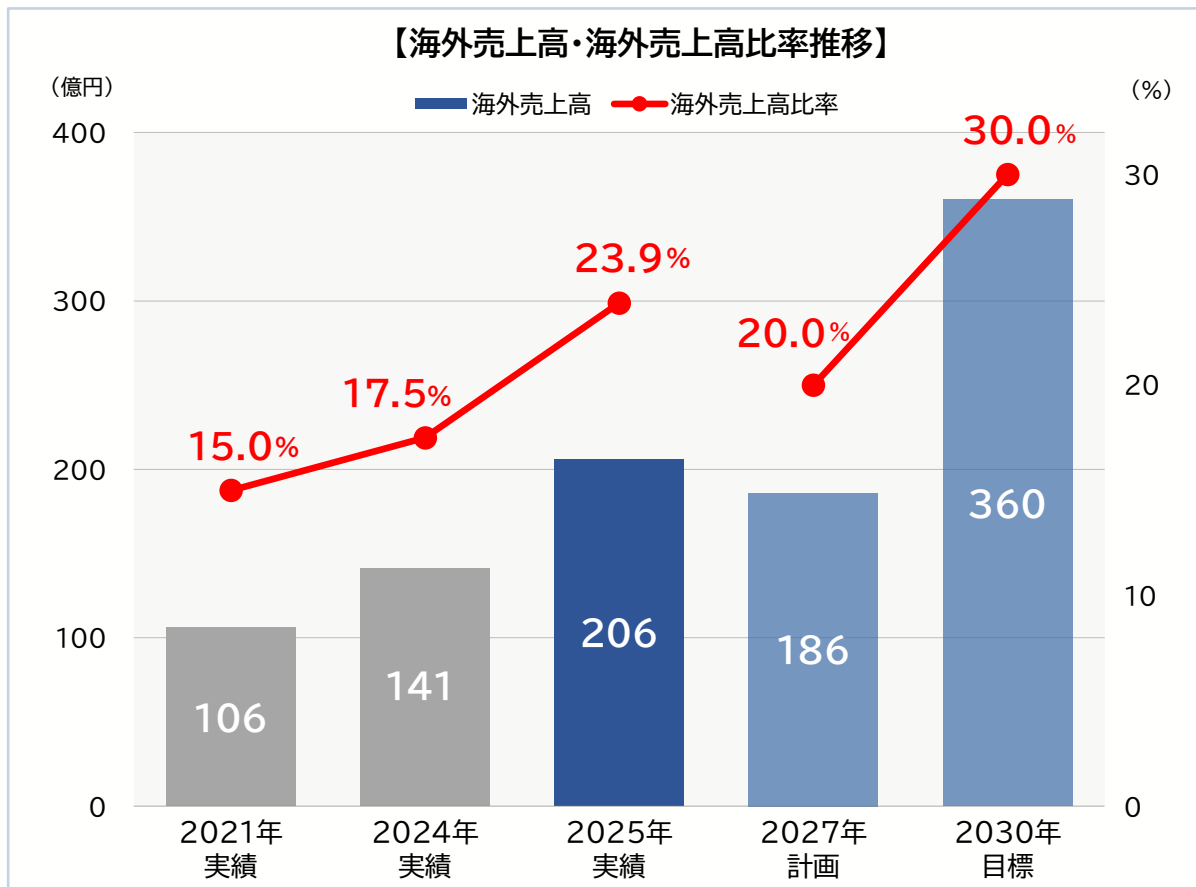
高瀬工場

- 2025年3月:集成材工場棟竣工
- 2025年4月:工場操業業務を受託する子会社(株)オークラBMワークスを設立
- 2026年4月の事業開始に向けてプレ生産を開始

四国地域産の木材と技術を最大限に利活用し、事業拡大、脱炭素社会を実現

## 【事業戦略】基本方針②：事業領域拡大に向けた海外事業の推進

経営資源を投入し、情報電子・プロセス機能材料を中心に海外向け売上を拡大



### 上海駐在員事務所の設立

2025年7月1日付で、新規材料事業部の上海駐在員事務所を設立

- 中国のディスプレイ市場の更なる拡大を見据え、現地での迅速な情報収集と顧客との関係深化を図る
- 情報収集にとどまらず、最新情報を発信する拠点としての役割を果たし、更なる価値の創出を目指す

### オークラベトナムでの事業開始に向けて

生産・販売に必要な化学品取扱ライセンスを2025年11月に取得。

当初の計画から1年遅れの2026年に製造を開始

## 【事業戦略】基本方針③：研究開発機能の強化による新製品の創出

新製品テーマ創出・開発・上市のサイクルを加速させ、当社事業をリードする

R&Dセンターを中心に4つの成長領域（情報電子、環境・エネルギー、ライフ&ヘルスケア、モビリティ）を通じて材料と技術を提供し、人々の生活をより良くすることを目指す

### 情報電子



LCPフィルム

光学フィルム  
(塗工/保護/他)

タッチセンサーフィルム

### 環境・エネルギー



ペロブスカイト太陽電池

各種複合部材

モノマテリアル

### ライフ&ヘルスケア

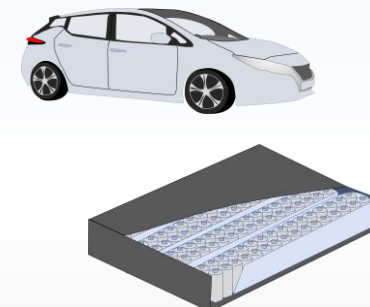


シングルユースバッグ

手術支援ロボットドレープ

植物抽出 食品包装用フィルム

### モビリティ



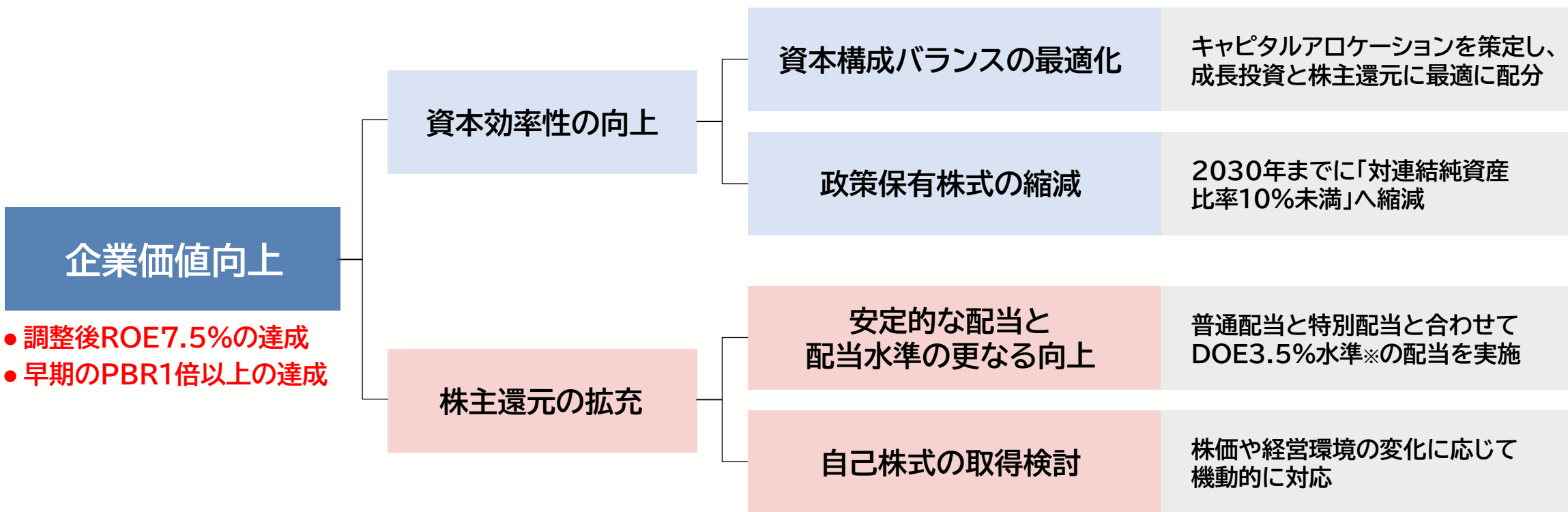
自動車用天井材

塗装代替フィルム

EV向け接着剤

## 【財務戦略】中期経営計画(2027)基本方針

資本効率性の向上と株主還元の拡充により、成長戦略を支え、企業価値の向上を図る



※計画策定時



## 【財務戦略】 株主還元の拡充

### 配当方針

- ① 株主還元を経営上の最重要課題の一つとして位置づけ、継続的かつ安定的な配当を目指す
- ② 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の一環として、利益還元強化の姿勢をより明確に示すために、従来の配当性向指標に加えて、DOE(連結自己資本配当率)指標を導入

### 配当目標指標

安定した利益配分 **DOE:4.0%** 水準 (普通配当:3.0%以上、特別配当:1.0%水準)

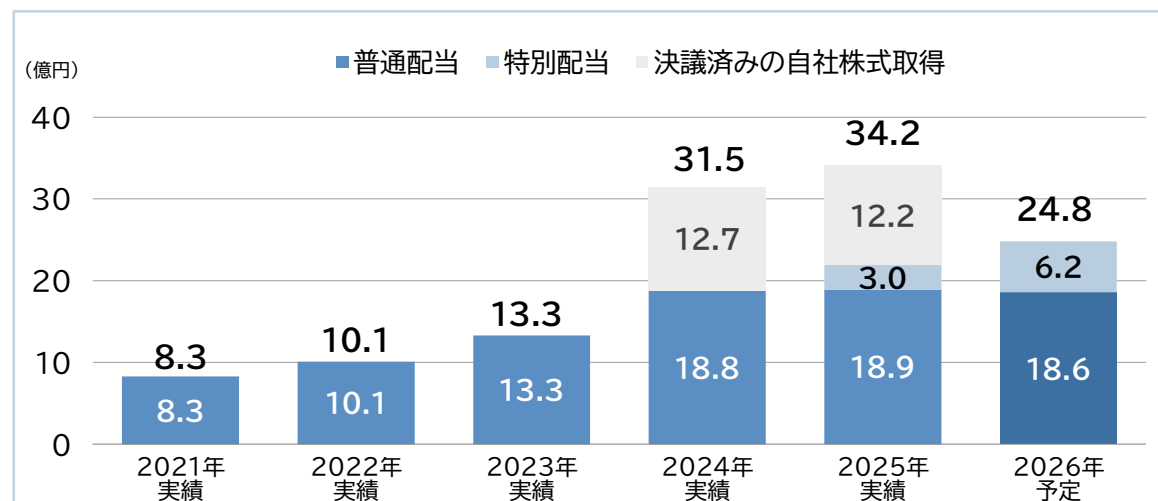
業績変動利益配分 **配当性向:30%** 以上

### 自己株式取得方針

株価や経営環境の変化に応じて機動的に対応

### 【株主還元推移】

	2024年 実績	2025年 実績	2026年 予定
配当目標	DOE:3.0%	DOE:3.5%	DOE:4.0%
※特別配当を含む	配当性向:30%	配当性向:30%	配当性向:30%
配当総額	18.8億円	22.0億円	24.8億円
配当性向	44.6%	58.2%	57.8%
総還元性向	72.5%	89.9%	57.8%
1株当たり配当金 (中間/期末)	160円 (55円/105円)	195円 (95円/100円)	220円 (110円/110円)



# ESG経営によるサステナビリティの推進

## 中期経営計画(2027) 方向性

非財務資本を強化し、社会的価値を追求することによって、持続可能な経済的価値を創出する

### 非財務資本の強化

自然資本	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 持続可能な資源の利用(脱炭素経営の推進)</li> </ul>
人的資本	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人的資本投資の加速、女性活躍・健康経営の推進</li> </ul>
知的資本	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イノベーションの創出と知的財産権の取得</li> <li>● DX推進による生産性の向上と業務の効率化</li> </ul>
製造資本	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製造における知識の深化と経験の共有</li> </ul>
社会関係資本	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 奉仕活動、地域ビジネスへの参画</li> <li>● ステークホルダーとの対話促進と情報開示</li> </ul>



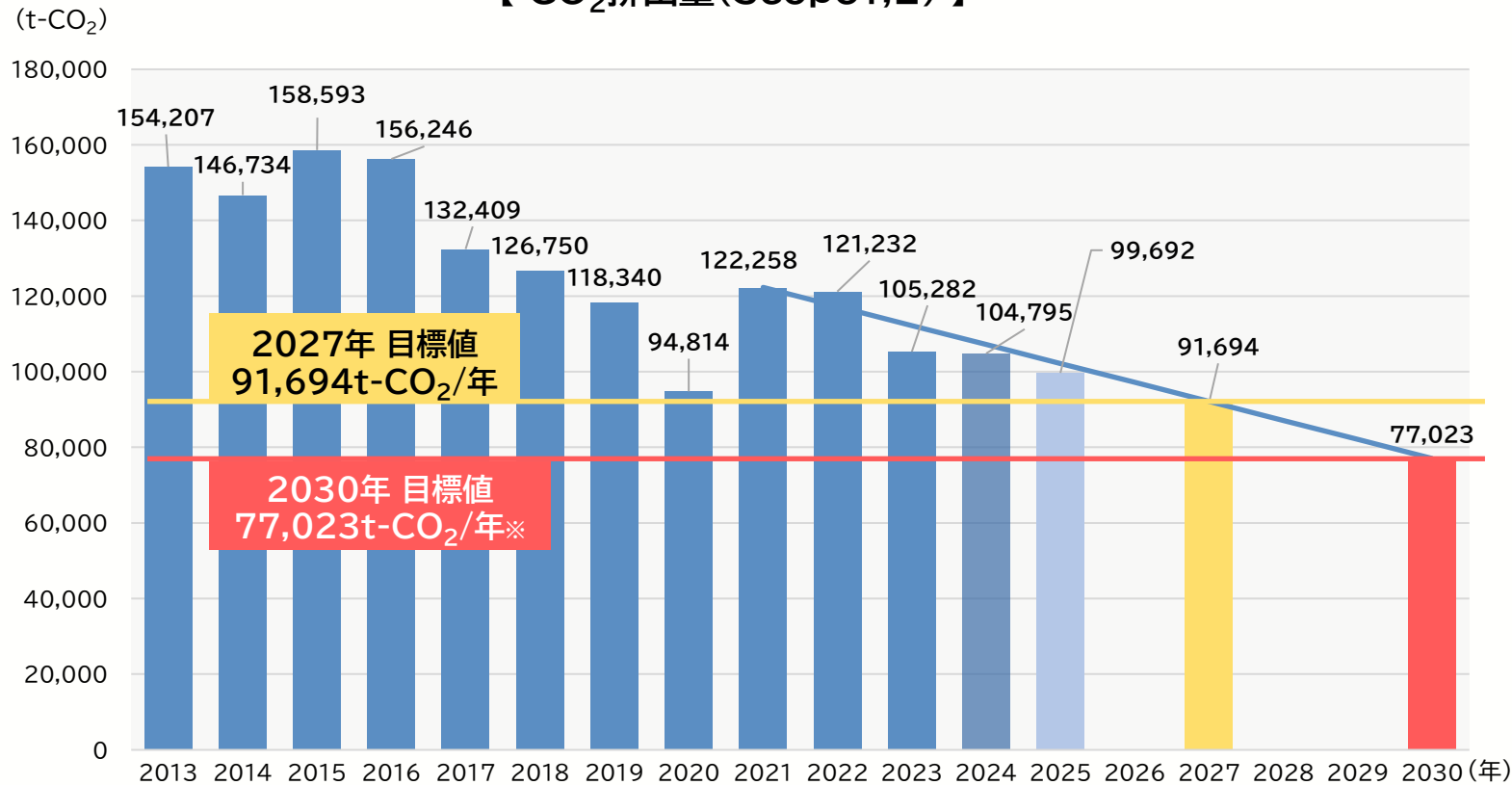
### 社会的価値の追求と経済価値の創出

- 環境貢献製品の創出と拡大
- 四国森林資源の利用促進
- サステナブル調達への推進
- 関係法令の遵守とコンプライアンス違反の撲滅

# 自然資本の強化

脱炭素経営を推進し、2027年までに2021年比でCO<sub>2</sub>排出量を25%※以上削減することを目指す

【 CO<sub>2</sub>排出量(Scope1,2) 】



## 2025年の主な取組み

### 再生可能エネルギーの活用拡大

- まんのう地区の敷地内にて太陽光発電(オンサイトPPA)を開始
- 丸亀第四工場にて敷地外の太陽光発電(オフサイトPPA)を活用した環境価値の付与開始

### 高効率設備への積極的な転換

- ICP価格の見直し

※削減目標

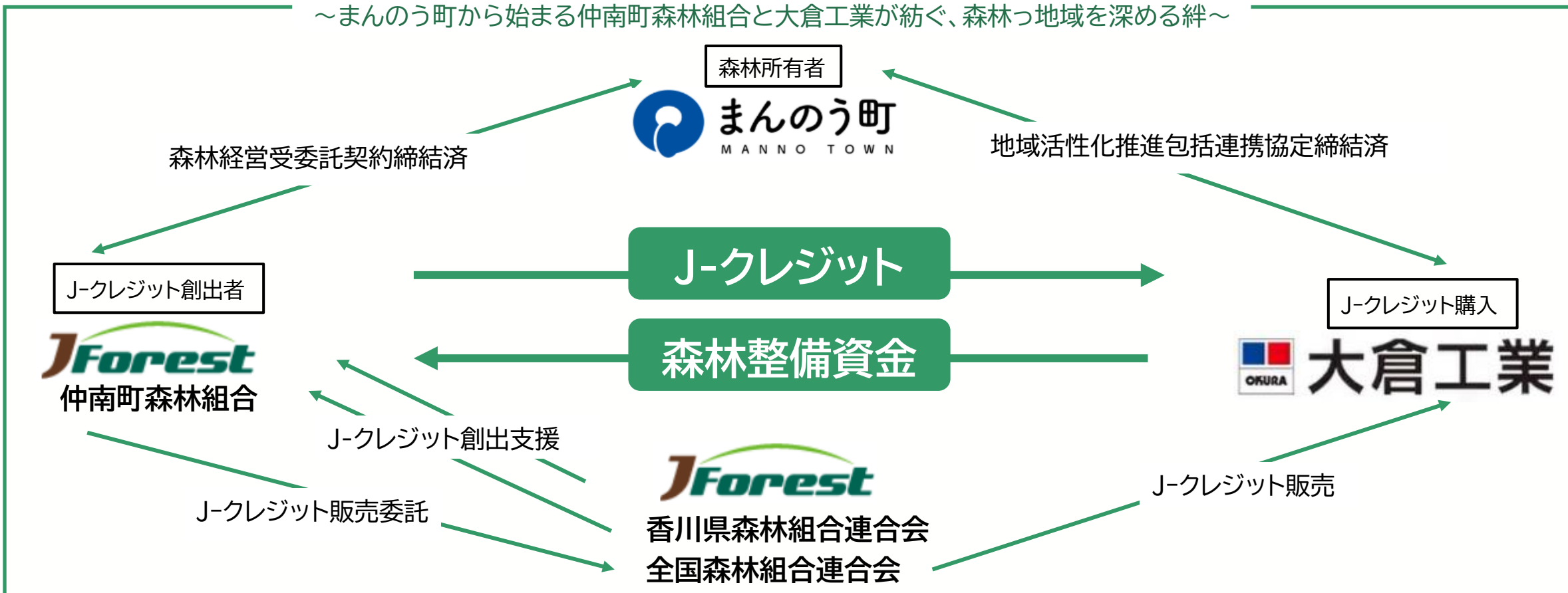
2024年:2021年比12%削減(2013年比30%削減に相当)

2030年:2021年比37%削減(2013年比50%削減に相当)

# 自然資本の強化

脱炭素経営を推進し、2027年までに2021年比でCO<sub>2</sub>排出量を25%※以上削減することを目指す

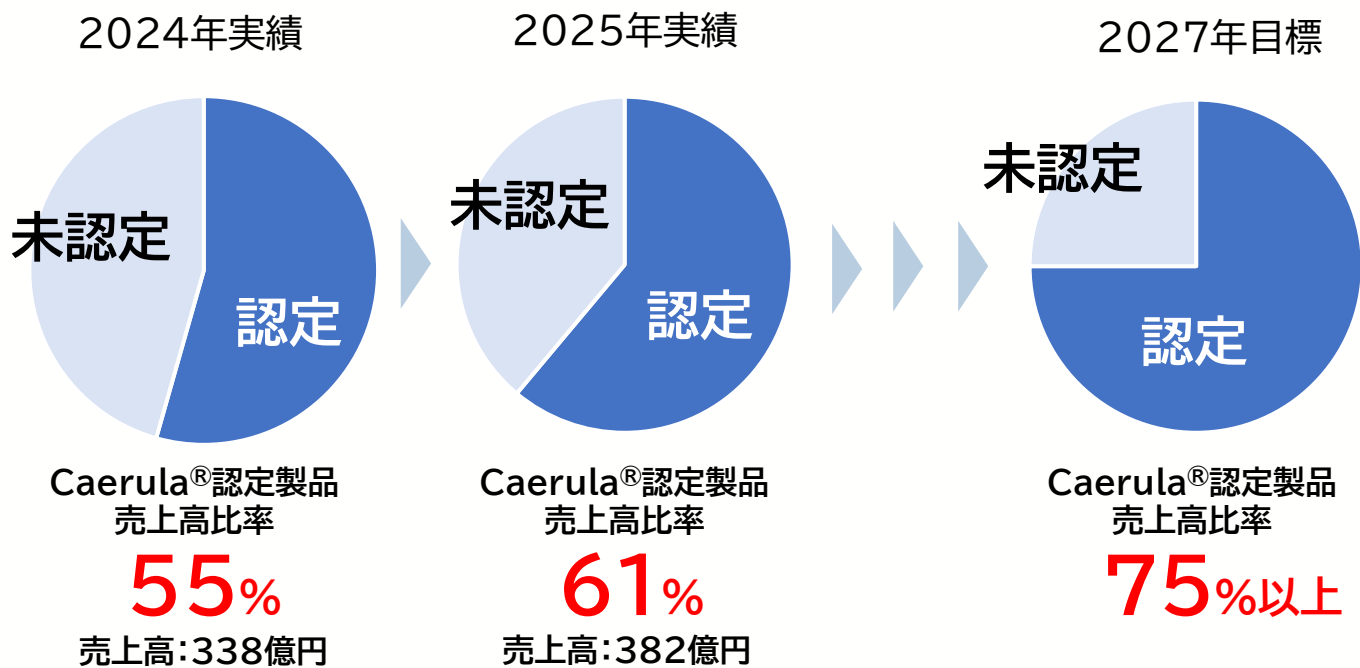
「夢と未来を育む豊かなさめきの森プロジェクト」J-クレジット連携協定  
 ~まんのう町から始まる仲南町森林組合と大倉工業が紡ぐ、森林っ地域を深める絆~



# 社会的価値の追求と経済価値の創出

製品に環境価値を付加し、生活サポート群におけるCaerula®の売上高比率を75%以上とすることを目指す

【生活サポート群製品におけるCaerula®認定状況】



～丸亀市指定ゴミ袋～



香川県で唯一のエコマーク認定

## 免責事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

本資料は、情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の売買を勧誘することを目的としたものではありません。

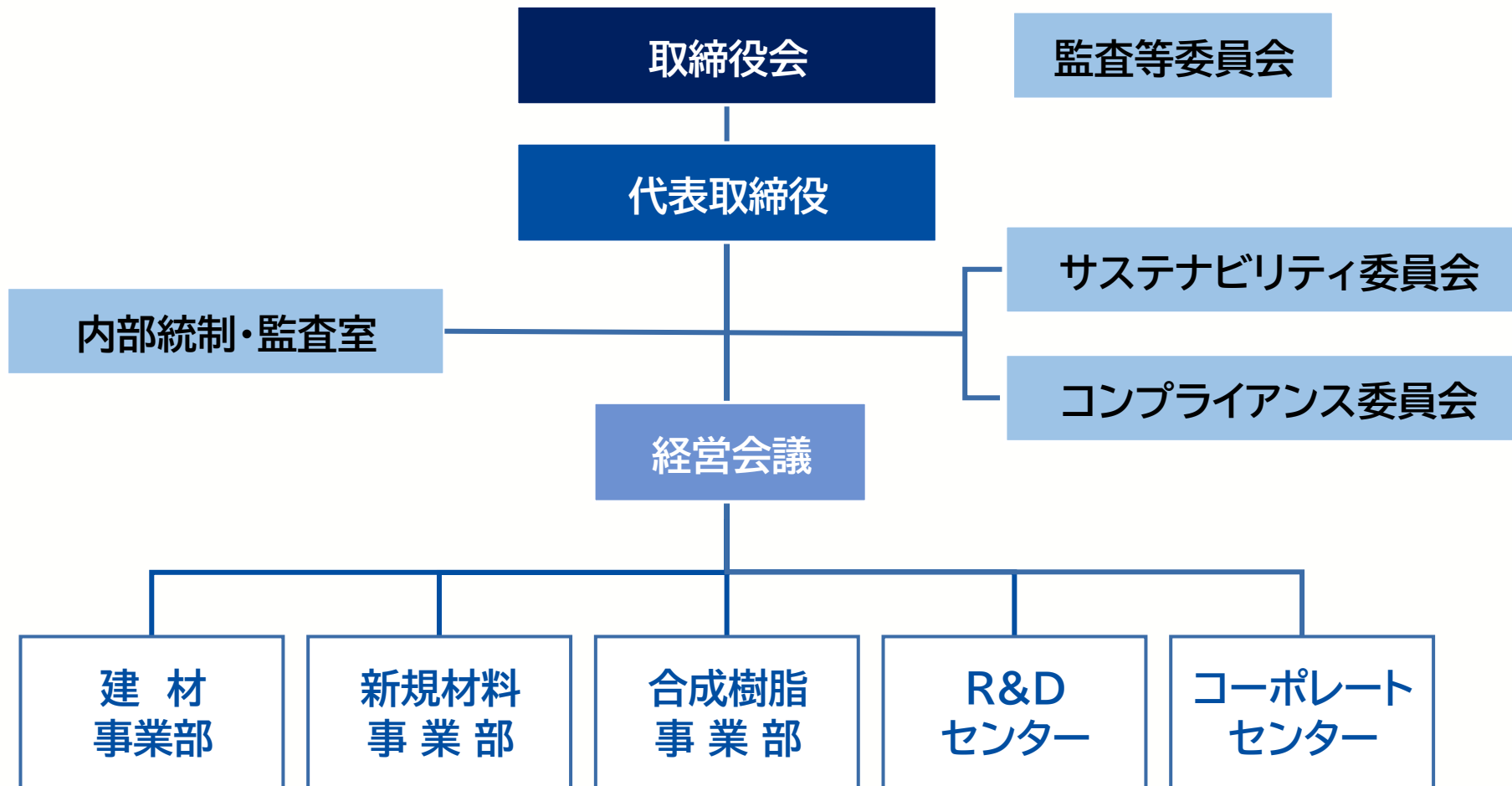
## 4. 参考資料

## 会社概要

証券コード	4221   東証プライム市場 業種   化学																												
社名	大倉工業株式会社   Okura Industrial Co., Ltd.																												
本社所在地	香川県丸亀市中津町1515番地																												
設立	1947年7月11日																												
従業員数	連結 1,883名   単体 1,054名 (2025年12月末)																												
事業内容	<p>合成樹脂事業:各種ポリエチレン製品及びポリプロピレン製品の製造販売</p> <p>新規材料事業:光学機能性フィルム等の製造販売</p> <p>建材事業:パーティクルボード、加工ボード、加工合板、木材加工、宅地造成及び建物建築等の製造販売</p>																												
グループ会社	<p>連結子会社・非連結子会社(国内14社、海外2社)</p> <table border="1"> <tr> <td>(株)KSオークラ</td> <td>(株)九州オークラ</td> <td>(株)埼玉オークラ</td> <td>(株)カントウ</td> </tr> <tr> <td>(株)オークラプロダクツ</td> <td>(株)オークラパック香川</td> <td>(株)ユニオン・グラビア</td> <td>(株)フジコー (2026年1月16日~)</td> </tr> <tr> <td>(株)オークラプレカットシステム</td> <td>(株)オークラハウス</td> <td>(株)オークラBMワークス</td> <td>オークラホテル(株)</td> </tr> <tr> <td>オークラ情報システム(株)</td> <td>大倉産業(株)</td> <td>無錫大倉包装材料有限公司</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">OKURA VIETNAM CO.,LTD.(オークラベトナム)</td> </tr> </table> <p>関連会社(国内4社、海外1社)</p> <table border="1"> <tr> <td>大宝(株)</td> <td>オー・エル・エス(有)</td> <td>大友化成(株)</td> <td>中讃ケーブルビジョン(株)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">尤妮佳包装材料(天津)有限公司</td> </tr> </table>	(株)KSオークラ	(株)九州オークラ	(株)埼玉オークラ	(株)カントウ	(株)オークラプロダクツ	(株)オークラパック香川	(株)ユニオン・グラビア	(株)フジコー (2026年1月16日~)	(株)オークラプレカットシステム	(株)オークラハウス	(株)オークラBMワークス	オークラホテル(株)	オークラ情報システム(株)	大倉産業(株)	無錫大倉包装材料有限公司		OKURA VIETNAM CO.,LTD.(オークラベトナム)				大宝(株)	オー・エル・エス(有)	大友化成(株)	中讃ケーブルビジョン(株)	尤妮佳包装材料(天津)有限公司			
(株)KSオークラ	(株)九州オークラ	(株)埼玉オークラ	(株)カントウ																										
(株)オークラプロダクツ	(株)オークラパック香川	(株)ユニオン・グラビア	(株)フジコー (2026年1月16日~)																										
(株)オークラプレカットシステム	(株)オークラハウス	(株)オークラBMワークス	オークラホテル(株)																										
オークラ情報システム(株)	大倉産業(株)	無錫大倉包装材料有限公司																											
OKURA VIETNAM CO.,LTD.(オークラベトナム)																													
大宝(株)	オー・エル・エス(有)	大友化成(株)	中讃ケーブルビジョン(株)																										
尤妮佳包装材料(天津)有限公司																													



# 組織図



# 事業所とグループ会社

## コーポレートセンター

香川県丸亀市中津町1515番地 〒763-8508  
TEL 0877-56-1111(代表)

## 新規材料事業部

香川県丸亀市中津町1515番地 〒763-8508  
TEL 0877-56-1130(代表)

A棟・C棟・D棟(本社構内)、B棟(丸亀第四工場内)、北棟・G棟・H棟(仲南工場内)、上海駐在員事務所(中国)

## R&Dセンター

香川県丸亀市中津町1515番地 〒763-8508  
TEL 0877-56-1120(代表)

## 合成樹脂事業部

香川県丸亀市中津町1515番地 〒763-8508  
TEL 0877-56-1150(代表)

東京支店、名古屋支店、大阪支店、広島営業所  
四国営業所(本社構内)  
丸亀第四工場、丸亀第五工場、仲南工場

## 建材事業部

香川県丸亀市中津町1515番地 〒763-8508  
TEL 0877-56-1258(代表)

詫間工場、高瀬工場

コーポレートセンター  
R&Dセンター  
合成樹脂事業部  
新規材料事業部(A・C・D棟)  
建材事業部

詫間工場

仲南工場  
新規材料事業部(北棟・G棟・H棟)

丸亀第四工場  
丸亀第五工場  
新規材料事業部(B棟)

広島営業所

大阪支店

名古屋支店

東京支店

中国：上海駐在員事務所

## グループ会社

- (株) KS オークラ
- (株) 九州オークラ
- (株) 埼玉オークラ
- (株) カントウ
- (株) オークラプロダクツ
- (株) オークラパック香川
- (株) ユニオン・グラビア
- (株) フジコー
- (株) オークラプレカットシステム
- (株) オークラハウス
- (株) オークラBMワークス
- オークラホテル(株)
- オークラ情報システム(株)
- 大宝(株)
- オー・エル・エス(有)
- 大友化成(株)
- 大倉産業(株)
- 中讃ケーブルビジョン(株)
- 無錫大倉包装材料有限公司
- 尤妮佳包装材料有限公司(天津)有限公司
- OKURA VIETNAM CO., LTD.

## 大倉工業の始まり

創業者 松田正二が  
長年お世話になった

松田正二が  
10年勤めた

倉敷紡績 社長

**大**原 総一郎氏

**倉**敷紡績株式会社

「将来は倉敷紡績より大きくなりたい」という希望を込めて...

1955年11月 **大倉工業株式会社** とした

## 沿革 | 戦災後の混乱期からの出発

1945	岡内製材所として製材・小型の復興住宅を販売
1946	四国住宅製材所に商号変更
1947	四国住宅株式会社を設立
1949	高松(東浜町)にて木材市売りを開始
1951	四国実業株式会社に商号変更 倉敷ビニロンを発売
1952	丸亀(城西町)にて木材市売りを開始 ※

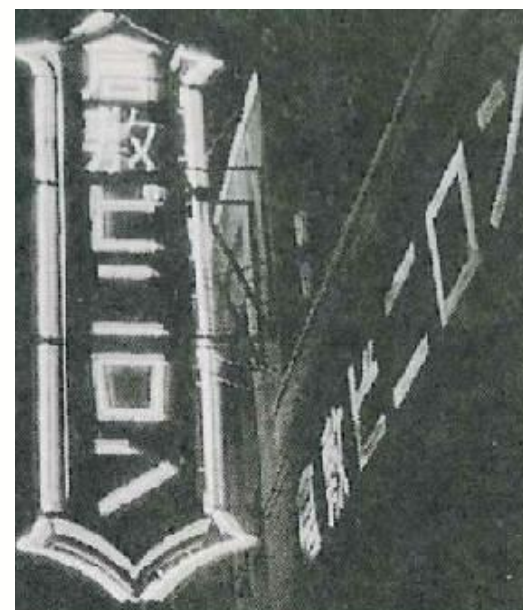
※1955年に丸亀(港町)に移転



高松製材所の風景



木材市売の四国住宅の頃



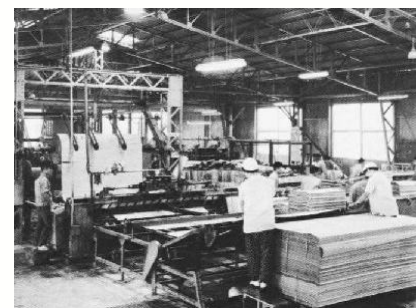
四国実業の事務所とネオンサイン

## 沿革 | 第一世代の偉大な歩み

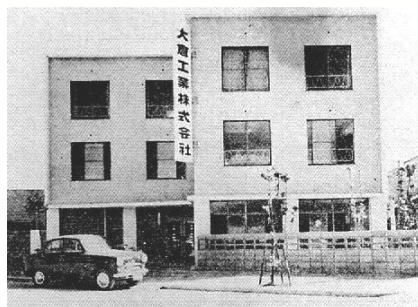
1955	【全体】大倉工業株式会社に商号変更
1956	【合成】ポリエチレンフィルム加工製造開始(港町)
1959	【合成】東京工場操業開始
1962	【全体】大阪証券取引所第2部市場に株式上場 【合成】本社工場操業開始 【建材】ラワン合板生産に進出、石膏ボード製造開始
1963	【他】「大倉産業株」を設立
1964	【建材】プリント合板製造開始
1966	【他】ハウス事業部を新設し、 土地造成並びに住宅建て売り事業開始
1967	【全体】東京証券取引所第2部市場に株式上場 【合成】埼玉工場操業開始



ハウス部設立当時の建売物件



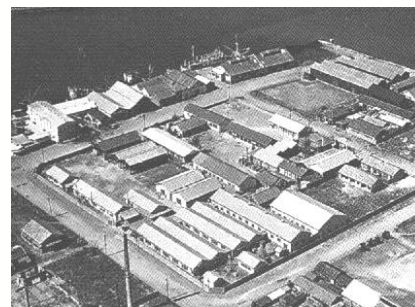
ベニア合板工場構内



高松本社ビル



高松(新材木町)本社



丸亀(港町)工場



本社工場構内

## 沿革 | 第二世代による事業の拡大

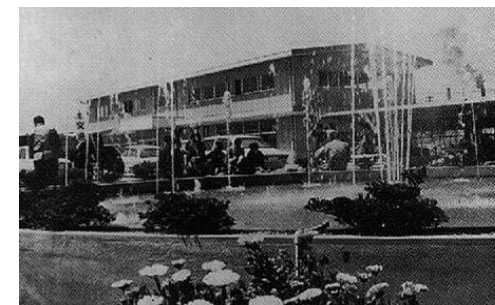
1968	【建材】詫間工場操業開始、【他】冷凍倉庫事業開始
1969	【建材】「大友化成(株)」を設立
1970	【全体】東京・大阪両証券取引所第1部市場に株式上場
1971	【建材】パーティクルボード製造開始
1972	【全体】本社を香川県丸亀市に移転
1973	【他】「オークラホテル高松」がオープン
1976	【建材】パーティクルボード二次加工開始(メラハーケン)
1977	【合成】丸亀第四工場操業開始
1984	【合成】「(株)カントウ」を設立
1987	【全体】ホテル事業部と新規材料事業部を新設
1988	【他】「オークラホテル丸亀」がオープン
1992	【他】「オークラ情報システム(株)」、 【合成】「(株)ユニオン・グラビア」を設立 【合成】丸亀第五工場操業開始 【他】「(株)岡山ビジネスホテル」運営開始
1995	【合成】「(株)オークラパック香川」、 「無錫大倉包装材料有限公司」を設立 【合成】仲南工場操業開始



オークラホテル丸亀



新規材料事業部(A棟)



丸亀(中津町)移転後の本社

## 沿革 | 新たなる半世紀を見据えた第三世代

2000	【新規】C棟竣工、「オー・エル・エス(有)」を設立
2001	【合成】福岡・熊本の2工場を統合し九州工場操業開始
2003	【他】「(株)オークラハウス」を設立
2004	【全体】第一次中期経営計画がスタート 【新規】D棟竣工 【合成】「(株)九州オークラ」を設立
2006	【合成】「(株)OKプロダクツ岡山」、 「(株)オークラプロダクツ香川」を設立
2007	【全体】コーポレートセンター及びR&Dセンターを新設 【全体】第二次中期経営計画がスタート 【合成】「(株)関西オークラ」、「(株)関東オークラ」を設立
2009	【他】「(株)オークラプレカットシステム」を設立
2010	【全体】第三次中期経営計画がスタート



新規材料事業部(C棟)



新規材料事業部(D棟)

VISION21 国際競争で優位に立てる大倉工業

## 沿革 | 第四世代 技術優位な企業集団を目指して

2012	【合成】「尤妮佳包装材料(天津)有限公司」を設立
2013	【全体】第四次中期経営計画がスタート
2014	【新規】G棟操業開始、オー・エル・エス新ライン増設 【合成】関西オークラ新工場(第3工場)操業開始
2016	【全体】第五次中期経営計画がスタート、監査等委員会設置会社に移行 【合成】「(株)オークラプロダクツ」を設立
2017	【全体】会社創立70周年
2018	【他】「オークラホテル(株)」が「(株)岡山ビジネスホテル」を吸収合併
2019	【全体】経営ビジョンNext10、第六次中期経営計画がスタート 【合成】「(株)埼玉オークラ」を設立
2022	【全体】Next10(2030)に改訂、中期経営計画(2024)がスタート 【合成】「(株)KSオークラ」を設立
2023	【新規】「OKURA VIETNAM CO., LTD. (オークラベトナム)」を設立
2024	【新規】H棟操業開始
2025	【全体】中期経営計画(2027)～絆を育み、輝く未来を～がスタート 【建材】「(株)オークラBMワークス」を設立 【新規】上海駐在員事務所を設立 【合成】東京支店を東京都千代田区麴町に移転
2026	【合成】「(株)フジコー」の株式を取得し連結子会社化



新規材料事業部(G棟)



新規材料事業部(H棟)

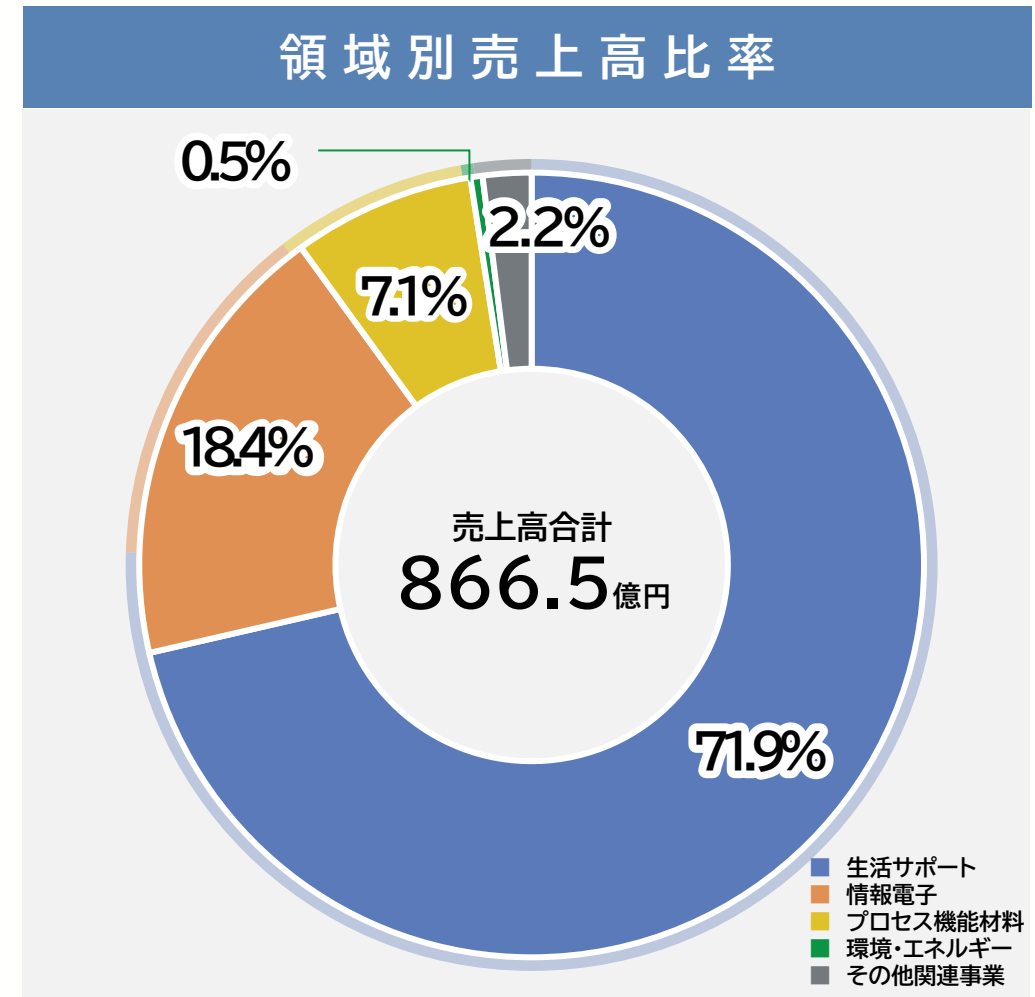
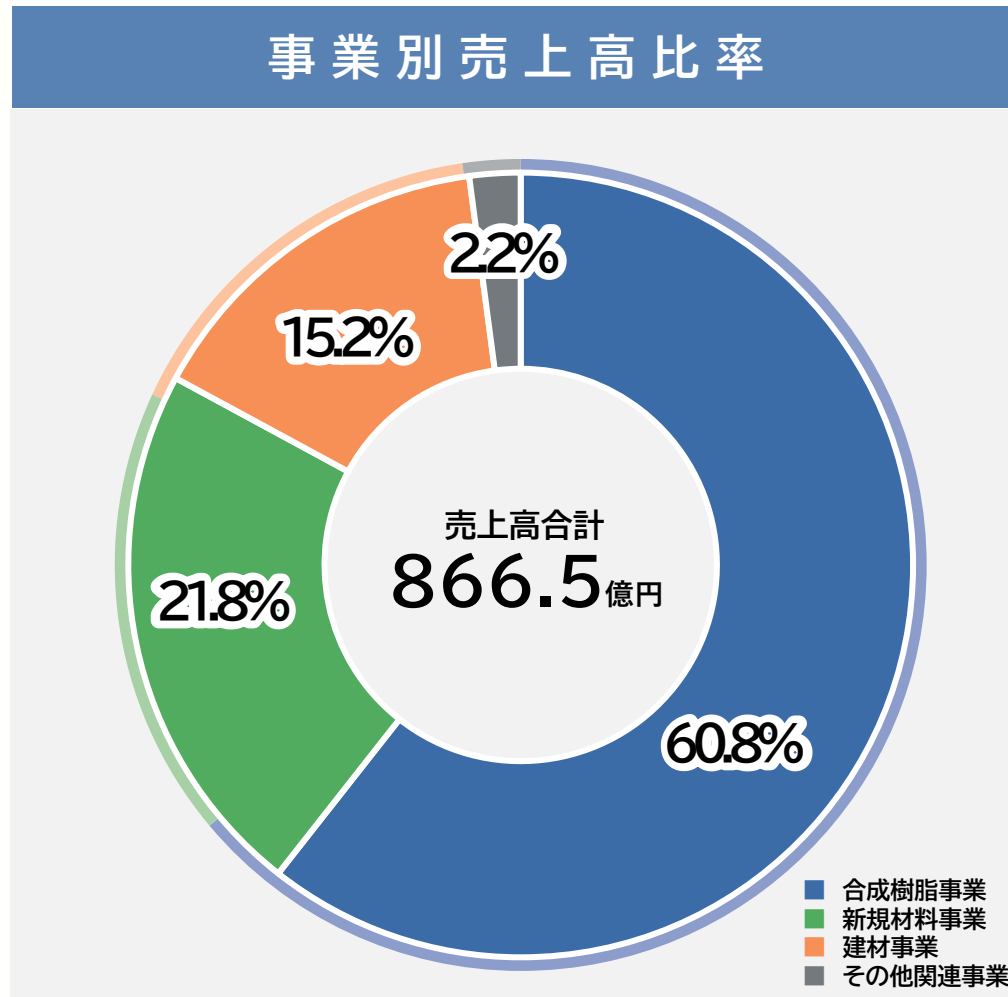


新たなパートナー、(株)フジコー森社長を迎える福田社長

要素技術を通じて、新たな価値を創造し、お客様から選ばれるソリューションパートナー



## 事業別、領域別売上高比率



## 事業紹介 | 合成樹脂事業 【売上高構成比:60.8%】

### ライフ & パッケージ BU

#### シュリンクフィルム

中間物流用の重量物包装や集積包装、食品を直接包装するものなど、オリジナルのデザインや形状を生かしたまま、商品をより美しく安全に包み込む。用途に応じた独自の機能を付与すると共に、印刷などの二次加工や包装システムなどを提案。

【用途例】乳酸菌飲料集積用、カップ麺、酒パック等の包装フィルム、食品トレイ包装用バリアフィルム



#### 軟包材

ナイロン・ポリエステル・ポリエチレンなどのさまざまなフィルムを貼り合わせることで、それぞれの特性を活かした機能的な複合フィルムのこと。冷凍食品の包装やIC基盤の保護用フィルム、詰め替え用のスパウト付きラミネート袋など、身近なところから最先端の電子材料にまで幅広く提供。

【用途例】食品、洗剤、柔軟剤、シャンプー、ペットフード、お菓子等



#### リキッドパック

液体包装容器の総称であり、段ボール箱内で使用されるバッグインボックスとドラム缶内で使用されるバッグインドラムに大別される。醤油などの食料品や化学薬品などの液体輸送の合理化に寄与。

【用途例】ミネラルウォーター、油脂加工製品、調味液(醤油、ソース等)、液体肥料、液体洗剤、接着剤



## 事業紹介 | 合成樹脂事業 【売上高構成比:60.8%】

### プロセスマテリアルBU

電子・エネルギー・住宅・メディカルなど様々な分野の主材や基材を提供。液晶パネルに使用される位相差フィルムの保護用フィルムなど、独自の樹脂ブレンドノウハウ・高い製膜技術・徹底した品質管理で最適なソリューションを提供。

【用途例】光学、電子、電気製品、自動車、ユニットバス壁面、ドア・クローゼット・床などの建装材など



### ベーシックマテリアルBU

規格袋・ごみ袋・包装/梱包荷材など、各種既製品はもとより、食品・衛生材料・家庭紙・日用雑貨・産業資材・医薬・洗剤・化粧品・印刷出版物など幅広い分野で製品の包装に使われているポリエチレンフィルムを提供。

【用途例】規格袋、日用品、食品用パッケージフィルム、衛生材料用フィルム



### アグリマテリアルBU

農業用の機能性フィルムであり、全国の農家から親しまれている製品。農作業の省力化と作物の収穫増のために、保温・地温上昇抑制・害虫忌避・抗菌・生分解といったさまざまな機能を持つ製品をラインアップ。

【用途例】農業用フィルム、肥料の保存



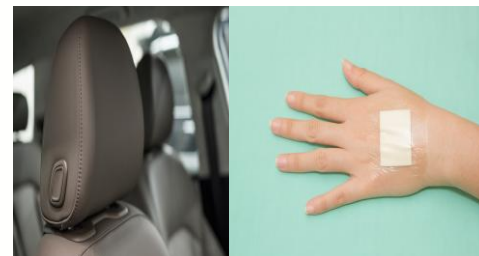
## 事業紹介 | 新規材料事業 【売上高構成比:21.8%】

### 機能材料BU

#### TPEチーム (ウレタンエラストマーフィルム)

ゴムの柔軟性とプラスチックの強度・硬度を併せ持つ熱可塑性ポリウレタンエラストマー樹脂(TPU)を押出形成したフィルム。透湿性、耐摩耗性、耐候性など、優れた特性を有する各種グレードを医療用途や自動車部材など各分野に提供。

【用途例】創傷用被覆保護ドレッシング、プリント接着用シート、印刷転写用シート、ヘッドレスト、ペイントプロテクションフィルム



#### BLTチーム (シームレスベルト・高機能ローラ)

カラープリンターの高画像、高速化に必要なキーパーツとして、電子機能を持つベルトやチューブをプリンター・複写機メーカーに提供。

【用途例】LBP用中間転写ベルト、クリーニングローラ、転写ローラ



#### ADHチーム (無溶剤型アクリル系接着剤)

「二液硬化」、「嫌気硬化」、「紫外線硬化」の3種類の硬化系をラインナップ。車輻・電気・鋼板・鋳型模型からゴルフクラブまで幅広い市場に提供。

【用途例】モーターマグネット(電気自動車部品)、塗装鋼板、ゴルフクラブ、鋳型模型



#### MEDチーム (医療関連)

クリーンルームでのフィルム加工技術、各種フィルムのハンドリング経験を基に医療用分野へ新たな製品を展開しています。

【用途例】手術支援用ロボット用ドレープフィルム、アイソレーションカバー

## 事業紹介 | 新規材料事業【売上高構成比:21.8%】

### 電子材料BU(加工) / 光学材料BU(製膜延伸)

MNTチーム

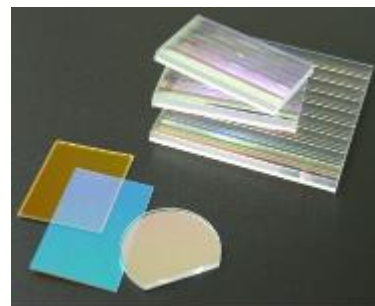
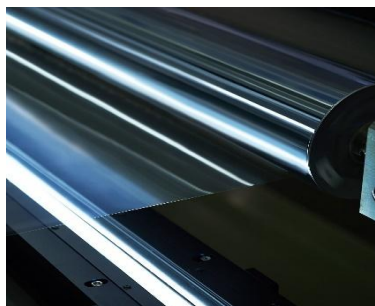
KEチーム

PLMチーム

CTチーム

MCSTRチーム

大型から中小型サイズのフラットパネルディスプレイを始め、タッチパネルや液晶プロジェクター等、電子表示体のキーパーツである各種光学機能性フィルムをFPDメーカー等に提供。



## 事業紹介 | 建材事業【売上高構成比:15.2%】

### 木質パネルBU

#### パーティクルボード (素板)

木質廃材を細かくしたチップに接着剤などを混ぜた原料を高温でプレスし固めたパーティクルボードを製造しています。木質廃材を焼却せず製品としてリサイクルしており、二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化の防止に寄与しています。

【用途例】 フローリング、耐力壁、ドア、棚板、キッチン扉、キャビネット材



#### パーティクルボード (加工ボード)

パーティクルボードに紙やオレフィン等の化粧シートを貼ったラミネートボードです。素板の表面平滑性を最大限に活かした高意匠の化粧板をキッチンメーカー等に提供しています。

【用途例】 棚板、キッチン扉、キャビネット材



## 事業紹介 | 建材事業【売上高構成比:15.2%】

### 木構造BU

**集成材事業**  
(2026年7月販売予定)  
(株式会社オークラ  
BMワークス)

香川県三豊市に本社があり、集成材の製造を請け負います。大倉工業では、ラミナと呼ばれる挽き板を積層接着した構造材料である集成材の製造を2025年4月に開始予定です。原材料となるラミナは四国地域を中心とした国産材を活用し、四国の森林資源の循環利用と持続可能な森林経営、脱炭素社会の実現に貢献します。

【用途例】 建物の梁・桁等



**木材加工**  
(株式会社オークラ  
プレカットシステム)

香川県三豊市に本社があり、木造建屋宅用構造材加工(プレカット加工)及び木造建屋用資材(建築金物・基礎素材等)の仕入販売を行う。プレカット材だけでなく、構造用耐力面材と断熱材などがセットになった省施工構造断熱パネルの提供により、現場での安全かつ省施工な作業を実現し、職人や大工の労力軽減に寄与。

【用途例】 建物の柱・梁・桁等



**建築・土地造成**  
(株式会社オークラハウス)

香川県丸亀市に本社があり、県内の新築、リフォームを手掛ける。エネルギー収支ゼロを目指したゼロ・エネルギー住宅や国土交通省が定めた耐震性能最高等級「耐震等級3」相当で建てるなど、快適に安心して永く住んでもらう住宅を提供。

【事業例】 分譲住宅、注文住宅、リフォーム



## 事業紹介 | その他関連事業【売上高構成比:2.2%】

### ホテル事業

#### オークラホテル 株式会社

香川県丸亀市に本社があり、オークラホテル丸亀を営業。  
オークラホテル丸亀は瀬戸内海を一望する最高のロケーションでビジネスや観光の拠点に便利な立地。



### 情報処理事業

#### オークラ情報 システム株式会社

香川県丸亀市に本社があり、ソフトウェア開発やコンピュータシステムの運用、保守パッケージソフトの製造・販売、コンピュータ機器販売を手掛けている。  
ニーズを拾い上げ、形にするまでトータルでサポート。




鑑査レンジ® Packs [鑑査レンジ®R]



**OKURA**

# 2025年12月期 決算説明資料

**END**

2026年2月16日  
 **大倉工業株式会社**  
証券コード:4221